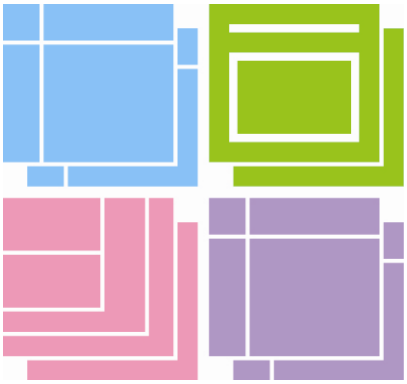
CDPM-X

Chart Drawing system for Project Management



Manual Tutorial

ご注意

①このソフトウェアおよびマニュアルの著作権は、株式会社かねこにあります。

②このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用したり複製することはできません。

③このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

④このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

⑤製品の内容につきましては万全を期しておりますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。

Microsoft、MS、Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

このソフトウェアおよびマニュアルに使用している名称は、すべて架空のものです。
実在する商品名、部品名、機械名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ＣＤＰＭ は株式会社かねこの登録商標です。

Copyright 1991-2012 株式会社かねこ All rights reserved.

このマニュアルについて

本書は、ＣＤＰＭ－Ｘ（Chart Drawing system for Project Management-X 以下、「ＣＤＰＭ－Ｘ」と呼びます。）の機能について説明するマニュアルです。本書は、Windows®をお使いになったことがあり、基本的な操作をある程度知っているかたを対象としています。
本書は、ＣＤＰＭ－Ｘマニュアル チュートリアルです。ＣＤＰＭ－Ｘの機能について初めてお使いになる方が、少しづつ学習が進められるように図を使い操作説明を行ったものです。

ご注意

ＣＤＰＭ－Ｘを使用するには、お使いのコンピュータに Windows® がセットアップされている必要があります。Windows®のセットアップについての説明は、Windows®に添付されているマニュアルを参照してください。本書ではＣＤＰＭ－Ｘのセットアップが終了していることを前提に説明をします。

CDPM-X

目　　次

ＣＤＰＭ－Ｘを起動する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
スタートメニューから起動する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
休日をあらかじめ決めておく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
新しい工程表を入力する画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
新規作成画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
工程表のプロパティとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
新規作成画面を開くため項目を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
作業のしやすい画面にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
画面に表示される文字の大きさを決める・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
工程表に名前を付けて保存する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
工程表にデータを入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
データを入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
工程表の休日を変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
全ての項目線の色を変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
項目名の入力や表示幅・項目の高さ、特定の項目横線を変更する・・・・・・・ １１
工程表の表示方法を変更するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
ホームリボンにて作業線データを入力しやすい設定にする・・・・・・・・・ １６
単入力モードで作業線を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７
工程表の内容をコピーする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２
工程表にイベントを入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６
イベントを入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６
結合点に文字を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７
結合点をコピーして文字を変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８
作業線の開始及び終了結合点に文字を入力する・・・・・・・・・・・・・・・ ２８
注釈から文字を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９
注釈をコピーして文字を変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０
工程表を印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３２
印刷イメージをみて体裁を整える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３２
印刷イメージをみる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３２
印刷書式を選択する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３
設定している用紙サイズ１枚にデータを収める・・・・・・・・・・・・・・・ ３４
用紙サイズを変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
工程表をプリンタやプロッタに出力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３６
ＣＤＰＭ－Ｘの終了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
ＣＤＰＭ－Ｘを閉じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
ＣＤＰＭ－Ｘの画面構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
ＣＤＰＭ－Ｘの画面構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
ビューのレイアウト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９

CDPM-X

作業の流れ

工程表を作成する前の準備

CDPMーXを起動する

↓

休日をあらかじめ決めておく

↓

新規作成画面を開く

↓

作業のしやすい画面にする

↓

工程表に名前を付けて保存する

工程表の入力

↓

作業線を入力する

↓

イベントを入力する

↓

結合点から文字を入力する

↓

注釈から文字を入力する

印刷の準備

↓

印刷イメージをみて体裁を整える

工程表の印刷

↓

工程表を印刷する

CDPMの終了

↓

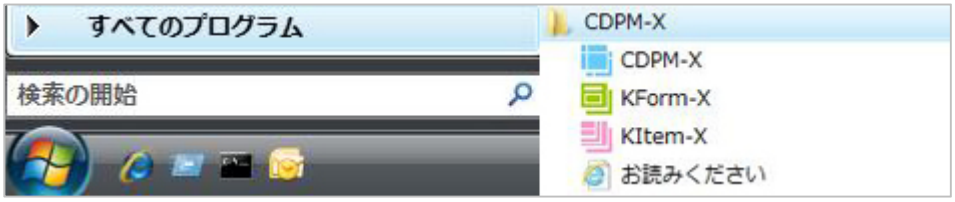
CDPMーXを閉じる

CDPM-X を起動する

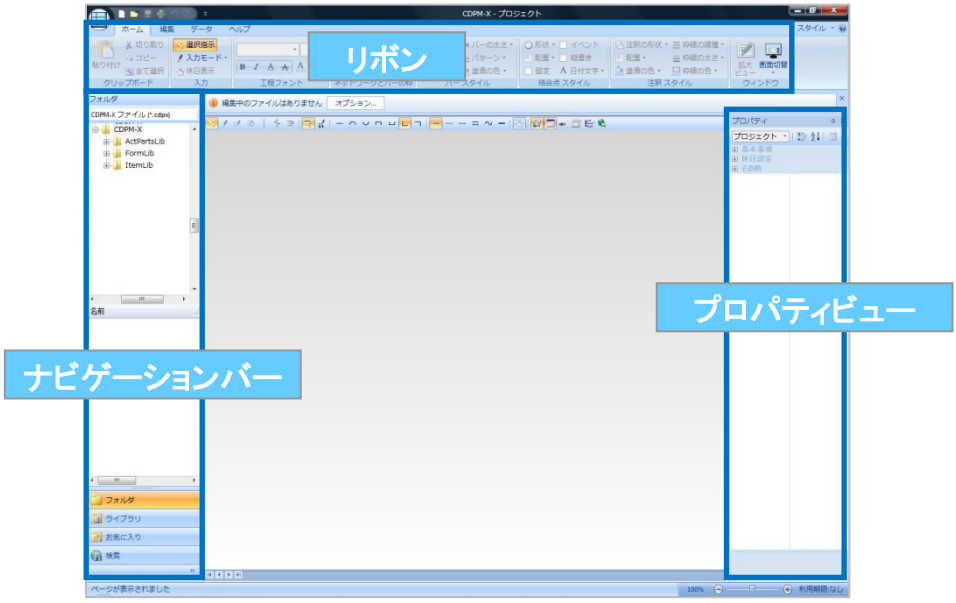
スタートメニューから起動する

Windows®が正しく起動されていると、「ＣＤＰＭ－Ｘ」というタイトルのスタートメニューを表示します。このメニューからＣＤＰＭ－Ｘを起動する操作と起動後の画面を説明します。

Windows®のスタートメニューに表示するＣＤＰＭ－Ｘのメニュー



ＣＤＰＭ－Ｘを起動したときの画面



リボンについて

ホームリボン：	作業線・結合点・注釈スタイルの編集や各ビューやバーの表示または非表示の切り替えを行います。
編集リボン：	編集中のプロジェクトに関する設定・変更、レイヤに関する設定・変更、新規作成データに反映するシステムの設定を行います。
データリボン：	入力したデータに日々の進捗状況を表す進捗線やクリティカルパス、ブラウザビューに作業一覧などを表示する設定を行います。
デザインリボン：	書式ビューを画面に表示し、書式ビュー画面上をクリック選択すると表示される書式専用のリボンです。

ビュー及びバーについて（画面上に表示/非表示設定可能）

ナビゲーションバー：	ファイルを開いたり、書式・項目ライブラリの操作を行います。

プロパティビュー：	各要素のプロパティ情報を表示します。 ダイアログを表示せずにビューから直接内容の編集を行えます。
印 刷 ビ ュ ー ：	印刷を行う専用ビューになります。 印刷実行の他にページ設定や印刷範囲など印刷に関連する設定を行います。
書 式 ビ ュ ー ：	印刷時と同じデータを表示します。書式雛型部分の編集を行えます。
補助項目ビュー：	補助項目を追加し、作業名の入力に合わせて切り替えを行います。
ブラウザビュー：	ＣＤＰＭプラスウェブなどを利用するブラウザ画面を表示します。
キャプションバー：	情報メッセージを表示します。

＊ビュー及びバーの表示/非表示について

[ホーム]リボンーウィンドウ内[画面切替]ボタンをクリックし表示するドロップダウンリストにて設定を行います。ビューまたはバーの名称をクリックし、表示または非表示を切り替えます。また、画面に表示しているビューまたはバーのフレーム右上「×」ボタンをクリックしますと非表示になります。

ＣＤＰＭ－Ｘの画面構成については、４８ページをご覧ください。

休日をあらかじめ決めておく

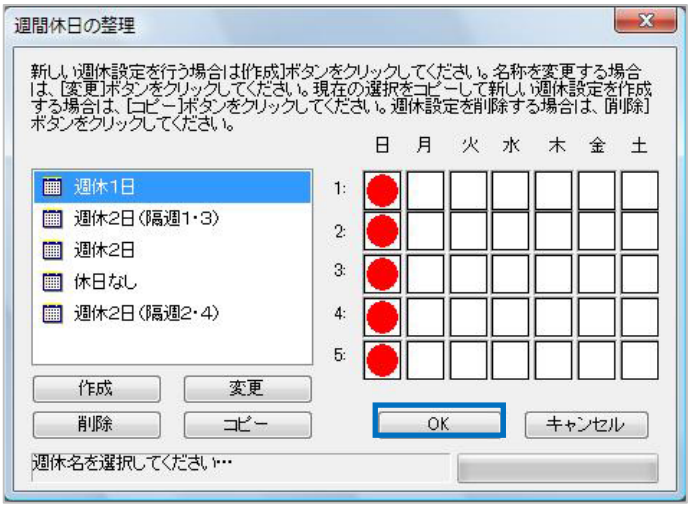
新しい工程表作成時に必要な休日をあらかじめ決めておく操作を説明します。

ここでは、週間の休日と１年間分の特別な休日をあらかじめ登録します。
特別な休日とは、国民の休日や会社の創立記念日など会社で定める休日で、通年に渡り変わらない休日をいいます。

① [編集]リボンーシステム内[システム]ボタン下「▼」を選択します。
休日を設定するための[週間休日]と[年間休日]を表示します。

② 週間休日を選択し、週間休日の整理ダイアログボックスを表示します。
左側一覧には週間休日データの名称「週休名」を表示します。
右側には左側一覧にて選択している「週休名」の休日データを表示します。

③ 新しい週間休日のデータを作成します。
左下の「作成」ボタンをクリックします。
左側一覧にて「週休名」を入力後、右側のエリアにて休日を設定します。



●印が付いている箇所は休日を示します。休日にするときや、休日を取消しするときは、該当する箇所をクリックします。クリックをすると●印を表示したり、消えたりします。

既存の週間休日データを編集するときは、
左側一覧から「週休名」を選択し、
右側のエリアにて休日を変更します。

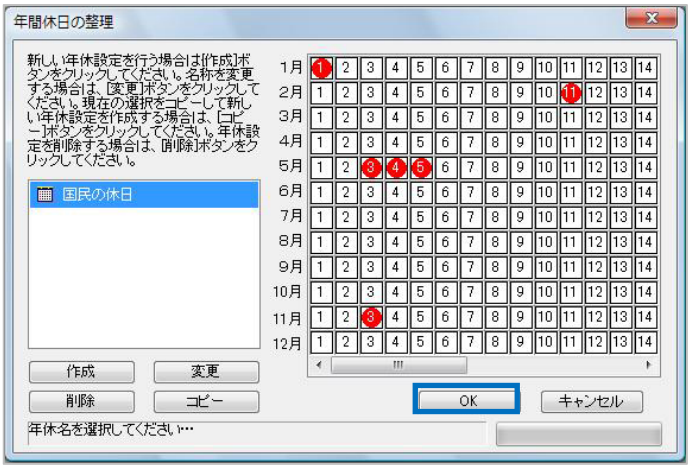
④ [週間休日の整理]ダイアログボックスの<ＯＫ>ボタンを選択します。
これで週間休日の設定は終了します。
設定後、新規作成する工程表からこの週間休日データが有効になります。

年間休日の設定について

① [編集]リボン-システム内[システム]ボタン下「▼」を選択します。

② 年間休日を選択し年間休日の整理ダイアログボックスを表示します。
左側一覧には年間休日データの名称「年休名」をします。
右側には左側一覧にて選択している「年休名」の休日データを表示します。

③ 新しい年間休日データを作成します。
左下の「作成」ボタンをクリックし、
左側の一覧にて「年休名」を入力後、右側のエリアにて休日を設定します。



●印が付いている日は休日を示します。休日にするときや、休日を取消しするときは該当する月日をクリックします。クリックをすると●印が表示されたり、消えたりします。
また、該当する月日が表示されていないときはスクロールバーを使用し画面移動します。
既存の年間休日データを編集するときは、
左側一覧から「年休名」を選択し、
右側のエリアにて休日を変更します。

④ [年間休日の整理]ダイアログボックスの<ＯＫ>ボタンを選択します。
これで年間休日の設定は終了します。
設定後、新規作成する工程表からこの年間休日データが有効になります。

新しい工程表を入力する画面を開く

新規作成画面を開く

新しい工程表を作成するときに必要な項目の入力や、入力する画面を開く操作を説明します。

●工程表のプロパティとは

工程表を作成するために必要な項目を「工程表のプロパティ」と呼びます。
新しい工程表を作成するための入力画面を開くには、次の項目を設定します。

- ●工程表のタイトル（プロジェクト名）
- ●工程表の開始日＜必須入力＞
- ●工程表の終了日、または開始日からの期間または稼働日＜必須入力＞
- ●週間の休日をどうするか＜必須入力＞
- ●年間の休日をどうするか＜必須入力＞
- ●登録されている項目のデータを使用するか
- ●登録されている書式データを使用するか
- ●ハッピーマンデーのデータを適用するか

参 考　工程表のプロパティは工程表作成した後からでも変更可能です。

●［プロパティビュー］－［プロジェクト］カテゴリから変更できる項目
タイトル・開始日・終了日・年間休日・週間休日・ハッピーマンデーの適用

●［編集リボン］－プロジェクト内［期間］から変更できる項目
タイトル・開始日・終了日・暦日日数・パッピーマンデーの適用
※プロジェクトカテゴリーダイアログ表示ボタンからも同じ変更可能

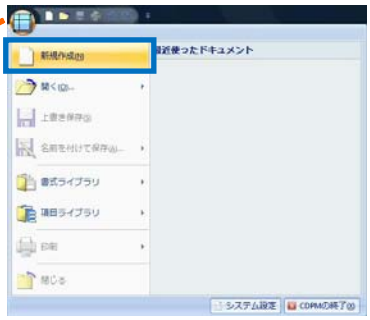
注 意　■開始日・終了日・暦日日数変更時は入力済のデータ保護が最優先になります。
開始日・終了日・暦日日数の変更時にメッセージが表示になるときは、
下記の設定を行います。
開始日を設定後、暦日日数を維持し計算ボタンをクリック。仮の終了日を設定します。その後入力データを移動し、再度終了日を設定します。

参 考　●印刷書式の変更について
［ナビゲーションバー］－［ライブラリ］を選択－上部［ライブラリ］書式ライブラリの形式を選択－書式データの保存先を選択－下部［名前］データ名をダブルクリックし選択します。

●新規入力画面を開くため項目を入力する

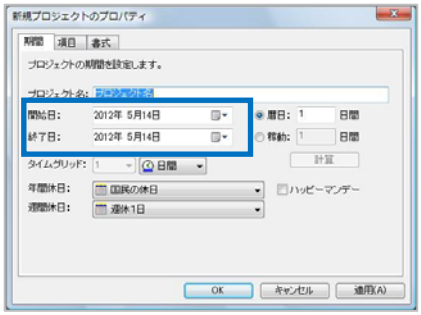
新しい工程表の入力画面を開くには、次のように操作をします。

① [メニューボタン]-[新規作成]コマンドを選択します。

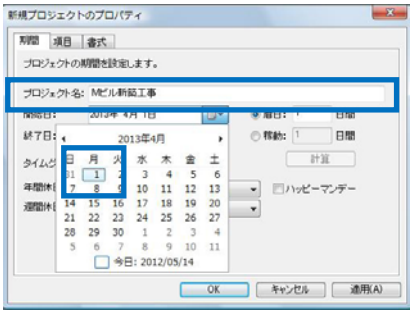


参 考 ●クイックアクセスツールバー内[新規作成]ボタン を選択すると新規プロジェクトプロパティダイアログボックスを表示します。

注 意 ■[新規プロジェクトのプロパティ]ダイアログボックスを表示したときの開始と終了年月日は、お使いのコンピュータが記憶している現在の日付を表示します。

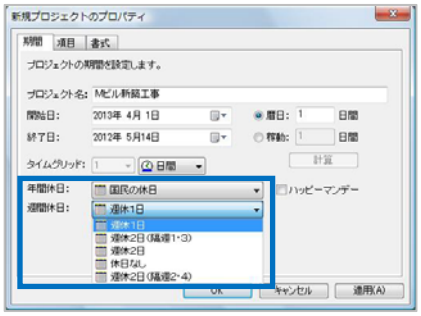


② 工程表のタイトルを入力します。
[プロジェクト名：]テキストボックスに、工程表のタイトル『Mビル新築工事』とキーボードを使って入力します。



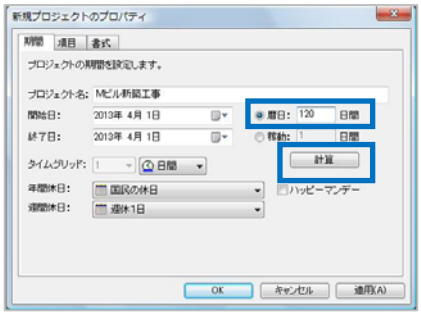
③ 開始日右側カレンダーマークをクリックし、カレンダーポップアップから開始日を選択します。
ここでは、『２０１３年４月１日』を選択します。

④ 年間休日を選択します。
[年間休日：]コンボボックスから『国民の休日』を選択します。



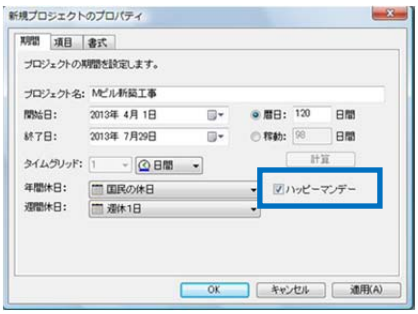
⑤ 週間休日を選択します。
[週間休日：]コンボボックスから『週休１日』を選択します。

⑥ マウスで[暦日：]テキストボックスをクリックします。
[暦日：]テキストボックスに開始日からの期間を入力します。
[暦日：]テキストボックスに半角数字で『１２０』と入力し、[計算]ボタンをクリックすると、終了日を計算します。



⑦　ハッピーマンデーチェックボックスにチェックを入れます。

※ハッピーマンデー＋変動型祝日データの休日表示を行います。

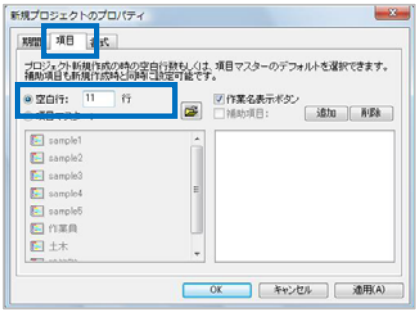


参 考

●終了日は開始日と同様にカレンダーから直接選択することも可能です。終了日をカレンダーから直接選択したときは、暦日日数・稼働日数を自動計算し表示します。

⑧　項目データを選択します。

［項目］タブ表示し＜空白行：＞ボタンを選択後、［空白行：］テキストボックスに半角数字で『１１』と入力します。



参 考

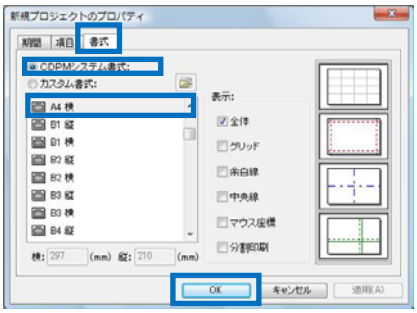
●＜項目マスター：＞ボタンを選択後、リストの中から項目データを選択することも可能です。

一覧表示される項目データは、現在項目ライブラリに登録されている項目マスターファイル（*.itm）を表示します。目的のファイルが見つからないときは、ライブラリボタン選択して表示される［フォルダの参照］ダイアログボックスから選択します。

＜ライブラリボタン＞

⑨　書式データを選択します。［書式］タブを表示し＜ＣＤＰＭシステム書式：＞ボタン選択後、『Ａ４横』を選択します。

⑩　＜ＯＫ＞ボタンを選択します。

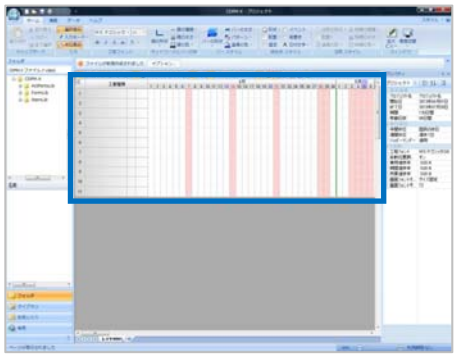


参 考

●＜カスタム書式：＞ボタンを選択後、リストの中から書式データを選択することも可能です。一覧表示される書式データは、現在書式ライブラリに登録されている書式ファイル（*.cfmx）が表示されます。目的のファイルが見つからないときは、ライブラリボタンを選択して表示される［フォルダの参照］ダイアログボックスから選択します。

＜ライブラリボタン＞

新規プロジェクトのプロパティをＯＫすると工程表示画面を表示します。
工程表示画面に作業線などデータを入力します。
※各ビューは表示/非表示の設定を行えます。
［ホーム］リボン－画面切替を選択して
ビューの名前をクリックします。



作業のしやすい画面にする

作業のしやすい画面にする操作を説明します。

●画面に表示される文字の大きさを決める

工程表示画面（作業線入力画面）の文字の大きさを変更する操作を説明します。

① ［プロパティビュー］－［プロジェクト］カテゴリコマンドを選択します。

② 画面フォントサイズの数値を変更します。

注 意

■画面の文字の大きさはお使いのコンピュータの環境により異なります。
操作は工程表示画面上の表示フォントを確認しながら、作業のしやすいフォントサイズを設定します。

参 考

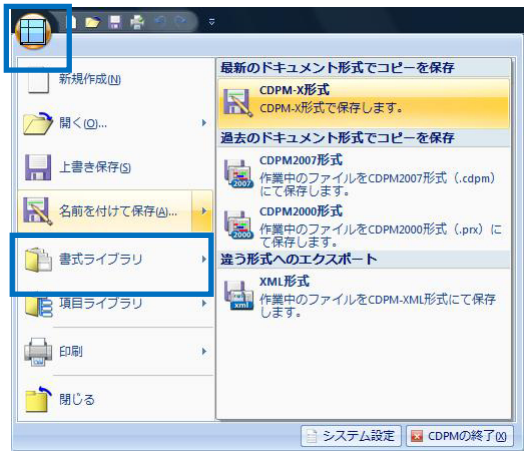
●工程表示画面を選択しているときに「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをスクロールすると工程表示画面が拡大または縮小します。
工程表示画面では作業線データなどを入力しやすい画面に調整する設定として、画面表示フォントサイズを変更せずにカレンダー幅を調整することも可能です。
工程表示画面のカレンダー表示エリア上で右クリック、［幅の設定］コマンドを選択しますと、［カレンダー幅の調整］ダイアログボックスを表示します。スクロールバーをドラッグしカレンダー幅の調整をします。
※カレンダー幅の設定は印刷時のデータに反映しません。

工程表に名前を付けて保存する

新規作成した工程表に名前を付けて保存する操作を説明します。

工程表に名前を付けて保存するには次のように操作します。

① ［メニューボタン］－［名前を付けて保存］コマンドを選択します。



参 考

●ＣＤＰＭ－Ｘにて作成したデータは次の形式のデータに保存できます。

ＣＤＰＭ２００７形式

ＣＤＰＭ２０００形式

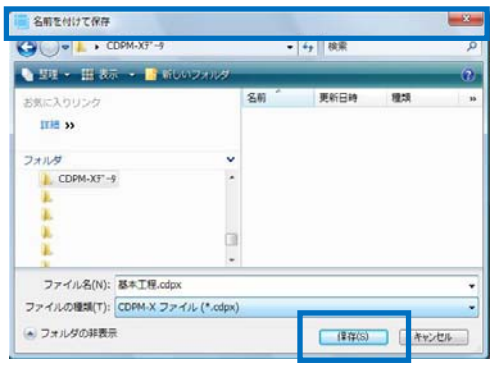
ＣＤＰＭ－ＸＭＬ形式

注 意

■ＣＤＰＭ－Ｘ新機能を使用したデータはＣＤＰＭ２００７形式・ＣＤＰＭ２０００形式に反映されません。

② ［名前を付けて保存］ダイアログボックスにファイル名を入力します。

［ファイル名：］テキストボックスに『基本工程』と入力します。



③ ［名前を付けて保存］ダイアログボックスの＜保存＞ボタンを選択します。

マウスポインタの形状が変わり、しばらくすると元の矢印の形状に戻ります。

これで新規作成したデータに『基本工程』というファイル名を付け、保存が終了しました。

注 意 ■長時間にわたり編集作業を続けるときは、適当な時間ごとに保存することをお薦めします。

工程表にデータを入力する

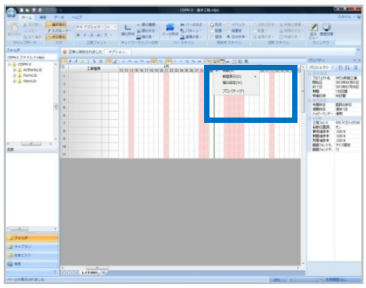
データを入力する

編集作業中の工程表の休日変更や、作業線の形（線型）と、線の種類（線種）を組み合わせて、データを入力する操作を説明します。

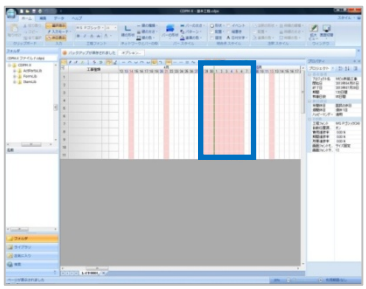
●工程表の休日を変更する

新しい工程表を開いたとき、新規作成時に設定した年間休日・週間休日に休日の色を表示します(休日表示設定と休日塗潰設定を選択しているとき)。
工程表を作成した後からでも、休日の設定を変更することは可能です。
この工程表では４月３０日～５月２日の３日間を休日に変更します。
稼働日を休日または休日を稼働日に変更するには下記の操作にてポップアップメニューから[稼働]コマンドを選択し特定の日付を直接変更します。

① カレンダー表示エリアの４月３０日にマウスポインタを合わせ、右クリックし表示するポップアップメニューから[稼動]コマンドを選択し、稼働日を休日に変更します。



② ①の操作を５月１日と５月２日に実行し、稼働日を休日に変更します。

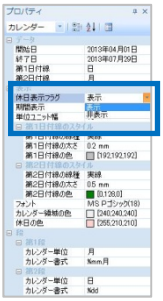


参 考 ●全休日の表示または非表示の切り替えはＡ・Ｂ・Ｃいずれかの操作を行います。

Ａ：[ホーム] リボン－入力内[休日表示]のＯＮ/ＯＦＦ

Ｂ：工程バー内[休日表示切替ボタン]のＯＮ/ＯＦＦ

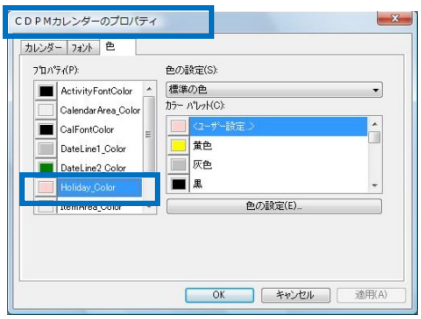
Ｃ：[プロパティビュー]－[カレンダー]カテゴリー
[休日表示フラグ]の表示/非表示の選択



参　考　●休日の色（休日塗潰）の変更はＡ・Ｂいずれかの操作を行います。

Ａ：［プロパティビュー］－［カレンダー］カテゴリー－［休日の色］をクリックし
カラーポップアップから色を変更します。

Ｂ：工程表示画面カレンダー表示エリアを
右クリックープロパティを選択、ＣＤＰＭ
カレンダーのプロパティダイアログボックス
ー色タブを選択、［Holiday_Color］を選択し
休日の色を変更します。

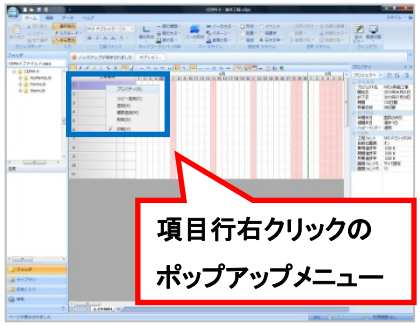


●全ての項目線の色を変更する

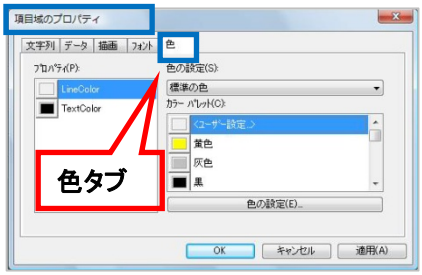
工程表内の項目行を区別する項目線（横線）の色を一括変更するには次の操作を行います。

①　工程表示画面左側の項目エリア内項目行を右クリック後、表示するポップアップメニューから［プロパティ］コマンドを選択します。

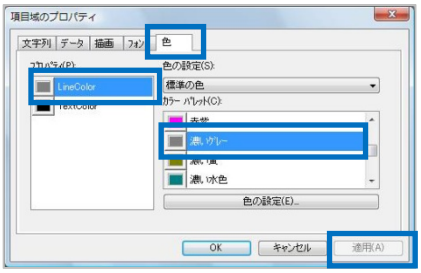
※一括変更するときに右クリックする項目行は
行番号付の行であればどこでも操作を行えます。



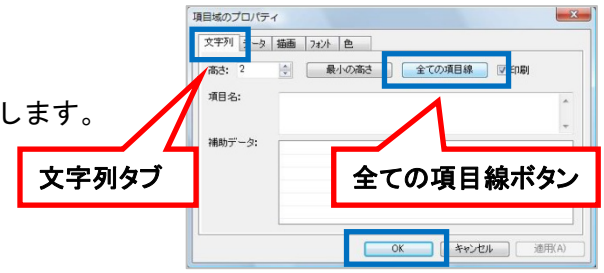
②　項目域のプロパティダイアログボックスを表示します。
［項目域のプロパティ］－［色］タブを選択し、
次に［文字列］タブにて操作を行います。



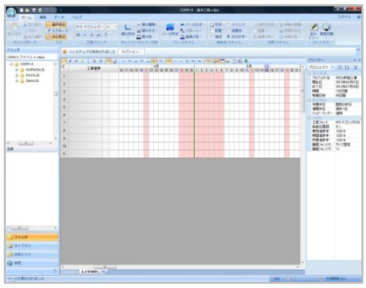
③　最初に［色］タブを選択し
左側［プロパティ］リスト中から［LineColor］を
選択します。
次に右側［カラーパレット］ の中から
［濃いグレー］を選択します。
［色］タブ内＜適用＞ボタンを選択します。



④　次に［文字列］タブを選択し
［全ての項目線］ボタンを選択します。
［文字列］タブ内＜ＯＫ＞ボタンを選択します。



全ての項目線の色は『濃いグレー』になりました。

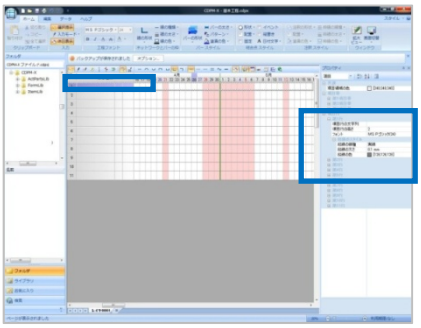


参　考　●全ての項目線の線種や線幅を変更するには
次の操作を行います。
項目行を右クリック、プロパティを選択し項目域の
プロパティを表示します。
最初に［描画］タブ、次に［文字列］タブにて操作します。
［描画］タブを選択し、線の種類や線幅をドロップダウンリストから選択します。
［描画］タブ内＜適用＞ボタンをクリックし、［文字列］タブを選択します。
［文字列］タブの［全ての項目線］ボタンを選択し、［文字列］タブ内＜ＯＫ＞ボタンを
選択します。

●項目名の入力や表示幅・項目の高さ、特定の項目横線を変更する

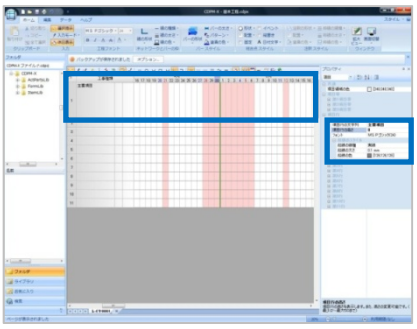
項目の中に文字を入力する方法や表示幅の変更、項目の高さを変更する操作を説明します。ここでは、項目に文字を入力し、項目の高さ、特定の項目横線の線種を変更します。

①　文字を入力する項目行第１行にマウスポインタを
合わせクリックすると、プロパティビューが
［項目］ カテゴリ表示に切り替り、
項目第１行のデータを開きます。

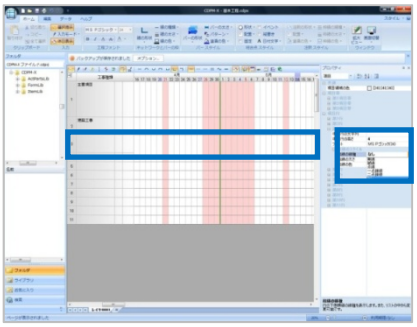


② ［項目］カテゴリー第１行内［項目行の文字列］に『主要項目』と入力し、［項目行の高さ］に『８』と入力します。

第１項目行に文字を表示し、項目の高さを変更して表示します。

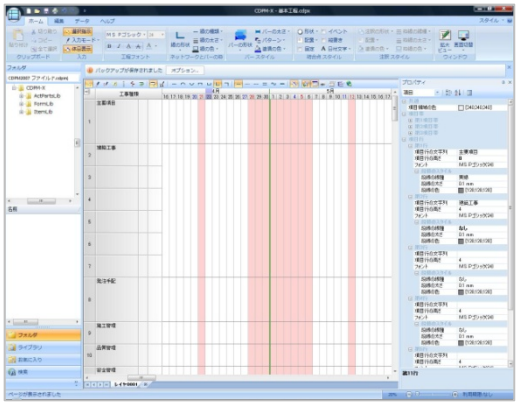


③ 区切線の線種を変更するときは、各行段線の線種ドロップダウンリストの中から選択します。



①～③の操作を行い、次の項目行に文字入力、表示高さ、区切線の線種を変更します。

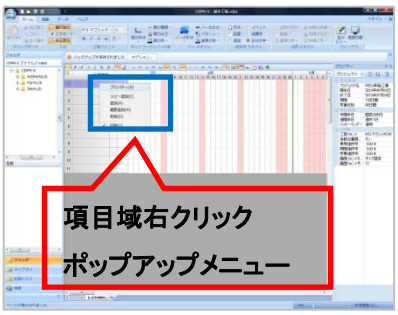
行	項目行の文字列	項目行の高さ	区切線の線種	区切線の太さ
２行目	建築工事	高さ：４	なし	0.1mm
３行目	空白（項目名なし）	高さ：４	なし	0.1mm
４行目	空白（項目名なし）	高さ：４	なし	0.1mm
５行目	空白（項目名なし）	高さ：４	なし	0.1mm
６行目	空白（項目名なし）	高さ：４	なし	0.1mm
７行目	空白（項目名なし）	高さ：４	実線	0.1mm
８行目	発注手配	高さ：７	実線	0.1mm
９行目	施工管理	高さ：４	実線	0.1mm
１０行目	品質管理	高さ：４	実線	0.1mm
１１行目	安全管理	高さ：４	実線	0.1mm



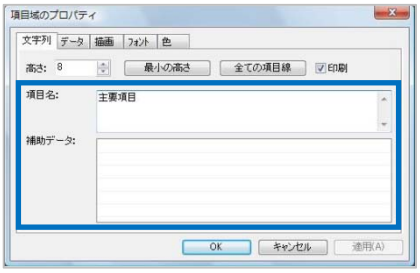
参 考 ●項目行への文字入力はＡまたはＢの操作からも行えます。

Ａ：文字を入力する項目行にマウスポインタを合わせ右クリックし表示するポップアップメニューから、［プロパティ］コマンドを選択します。

項目域のプロパティダイアログボックス文字列タブ内の項目名：テキストボックスに文字を入力します。

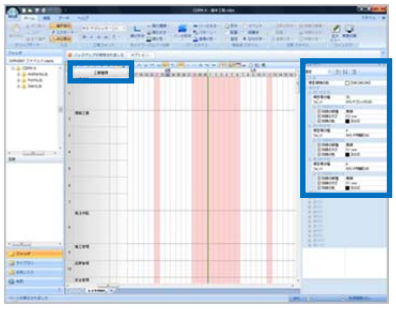


項目域のプロパティダイアログボックス文字列タブでは高さの変更も行えます。

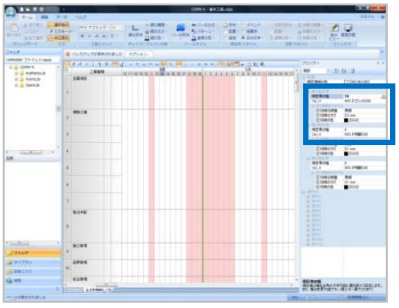


Ｂ：文字を入力する項目行にマウスポインタを合わせダブルクリックし、直接文字を入力します。

④　項目の横幅を変更する操作を行います。
工事種類の文字上にマウスポインタを合わせクリックし［項目］カテゴリー項目帯のデータを開きます。



⑤　［項目］カテゴリー第１項目帯内
［項目帯の幅］に『１８』と入力します。

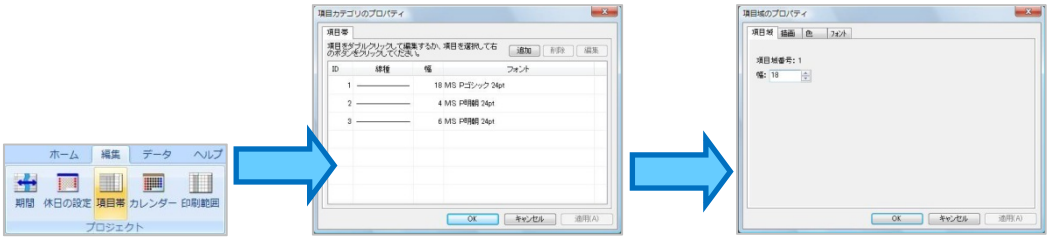


参 考 ●項目帯の幅の変更は次の操作からも行えます。

［編集］リボン－［項目帯］を選択し、項目カテゴリのプロパティを表示します。

ＩＤ：１をダブルクリックまたはＩＤ：１を選択後「編集」ボタンをクリックし

項目域のプロパティを表示します。［項目域］タブ内幅を変更します。



●工程表の表示方法を変更するには

工程表の表示方法には次の項目があります。

表 示 方 法	プロパティビューレイヤカテゴリ 変更該当箇所	レイヤプロパティ 変更該当箇所
作業線の表示方法 （作業線の表示モード）	作業線の形状	描画
作業名の表示方法 （作業名の表示モード）	作業名の表示	文字
休日の陰線処理方法 （休日の表示方法）	休日陰線	休日
作業日数の表示方法 （作業日数の表示モード）	日数表示フォーマット	日付

工程表の表示モードを変更するには次の操作を行います。

プロパティビューを画面に表示後、工程表示画面上をクリックすると

［レイヤ］カテゴリに切替ります。

作業線の表示方法を変更するには

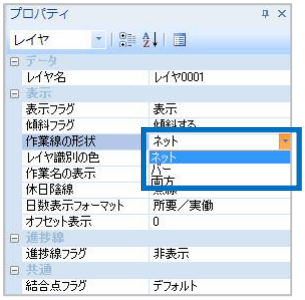
［レイヤ］カテゴリ－［作業線の形状］ドロップダウンリストの中から選択します。

ネット：ネットワーク作業線

バ　ー：バーチャート作業線

両　方：バーチャート作業線表示内に

ネットワーク作業線を同時に表示



作業名の表示方法を変更するには

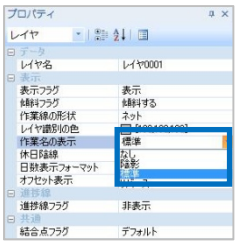
［レイヤ］カテゴリー［作業名の表示］ドロップダウンリストの中から選択します。

なし：画面上に作業名を非表示

陰影：画面上に作業名エリアのみ表示し作業名は非表示

標準：作業線の上部に作業名を表示

リバース：作業線の下部に作業名を表示



休日の陰線処理の設定を変更するには

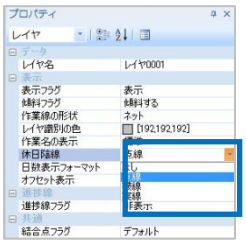
［レイヤ］カテゴリー［休日陰線］ドロップダウンリストの中から選択します。

なし：休日にかかる作業線は非表示

点線：休日にかかる作業線は点線を表示

破線：休日にかかる作業線は破線を表示

実線：休日にかかる作業線は実線を表示

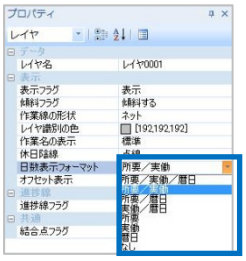


作業日数の表示方法を変更するには

［レイヤ］カテゴリー［日数表示フォーマット］

ドロップダウンリストの中から選択します。

所要／実働／暦日	所要／実働
所要／暦日	実働／暦日
所要	実働
暦日	なし

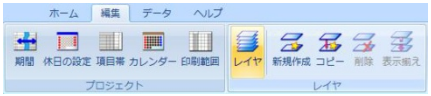


参　考　●作業線に日付を表示しない設定

［レイヤ］カテゴリー［日数表示フォーマット］ドロップダウンリストから『なし』を選択します。

参　考　●表示モードの変更は次の操作からも行えます。

［編集］リボンーレイヤ内［レイヤ］ボタンをクリックします。



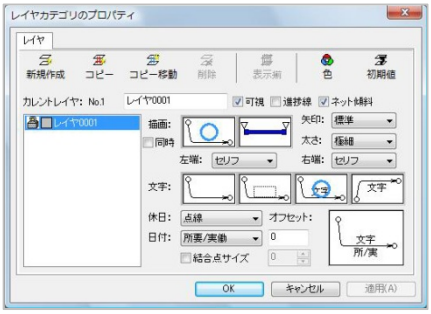
レイヤカテゴリのプロパティを表示し、各表示モードを変更します。

描画：作業線の表示方法の変更

文字：作業名の表示モードの変更

休日：休日の陰線処理方法の変更

日付：作業日数の表示方法の変更



それぞれ変更したい箇所の画像を選択、

またはドロップダウンリストにて変更します。

変更後、レイヤカテゴリのプロパティ内＜ＯＫ＞ボタンを選択します。

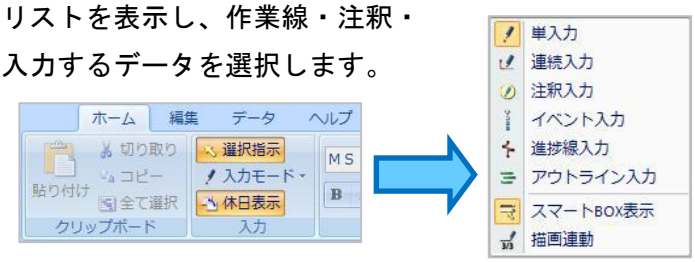
●ホームリボンにて作業線データを入力しやすい設定にする

●入力方法の切り替え

［ホーム］リボン－入力に入力方法を切り替えるボタン及びドロップダウンリストがあります。＜選択指示＞ボタン・＜入力モード＞ドロップダウンリストボタンを選択すると色が変わります。

選択指示：　作業線などデータの選択や移動、また編集するときに選択します。

入力モード：　ドロップダウンリストを表示し、作業線・注釈・イベントなどを入力するデータを選択します。



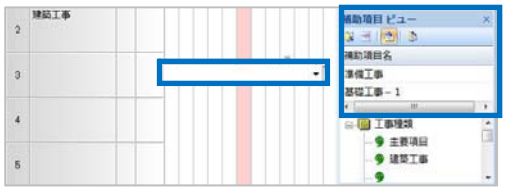
●スマートＢＯＸ表示を行うには

スマートＢＯＸ表示を設定すると、作業線を入力したときにスマートＢＯＸを表示し、スマートＢＯＸに作業名を入力すると作業線に反映します。

また、入力した作業名データは各項目行に保存し、スマートＢＯＸドロップダウンリストに表示します。

［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストから［スマートＢＯＸ表示］を選択します。

※［補助項目ビュー］－補助項目名一覧にてデータを選択していないときに、スマートＢＯＸを表示します。



参考　●補助項目名一覧のデータを作業名入力時に表示するには

補助項目ビューを表示し、補助項目の追加ボタンを選択。表示される項目ライブラリの選択ダイアログボックスにてデータ名を選択、＜ＯＫ＞ボタンを選択し補助項目一覧に項目マスターを追加します。補助項目一覧にてデータ名を選択しているときは項目マスターリストを作業線入力時に表示します。

●作業線の期間変更に合わせた所要日数の表示を行うには

作業線の期間変更に合わせた所要日数表示の設定は、［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストにて［描画連動］を選択します。

●作業線の形状の設定を変更するには

作業線の形状を変更するには、［ホーム］リボン－ネットワークとバーの枠内［線の形状］ドロップダウンリストを表示し、７種類の形状から選択します。

●作業線の種類の設定を変更するには

作業線の種類を変更するには、［ホーム］リボンーネットワークとバーの枠内［線の種類］ドロップダウンリストを表示し、６種類の線種から選択します。

●作業線の太さの設定を変更するには

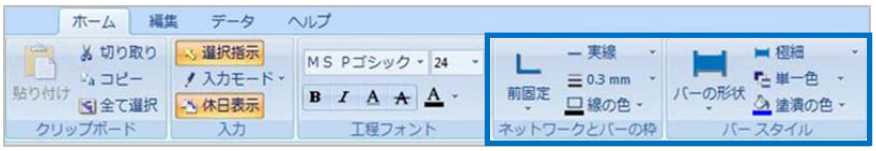
作業線の太さを変更するには、［ホーム］リボンーネットワークとバーの枠内［線の太さ］ドロップダウンリストを表示し、１０種類の太さから選択します。

参 考 ●作業線入力後に形状・種類・太さを変更することができます。

○［ホーム］リボン内ネットワークとバーの枠/バースタイル

作業線を選択後、各コマンドから変更します。

ホームリボンでは複数の作業線データを一括変更することができます。



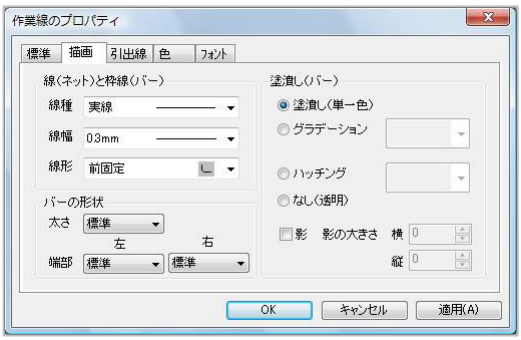
○プロパティビュー［工程］カテゴリ

作業線上をクリック選択するとプロパティビューが［工程］カテゴリに切り替わり、プロパティ情報を表示します。

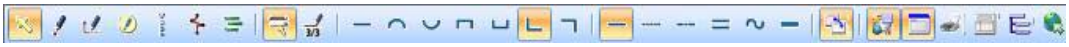
その中に［作業線のスタイル］情報があり、各コマンドにて変更します。

○作業線のプロパティ

作業線上を右クリックしプロパティを選択。［作業線のプロパティ］ダイアログボックスー［描画］タブを選択し各ドロップダウンリストにて変更します。



参 考 ●入力方法の切り替えやスマートＢＯＸ表示の設定は工程バーからも行えます。



●単入力モードで作業線を入力する

＜単入力＞モードにて作業線を入力する操作の説明をします。

最初に、建築工事２行目から７行目に作業線を入力します。

① ホームリボンまたは工程バーから次の入力方法を選択します。

＜単入力＞

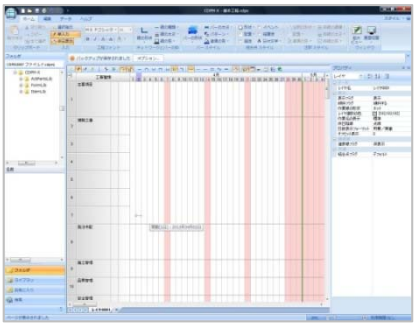
＜スマートＢＯＸ表示＞

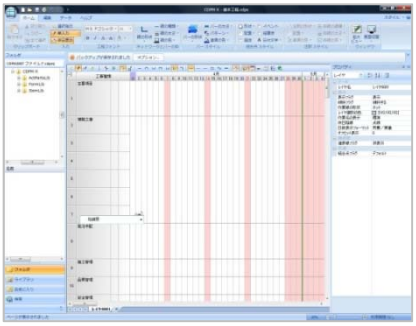
＜前固定（Ｌ字）＞

＜描画連動＞

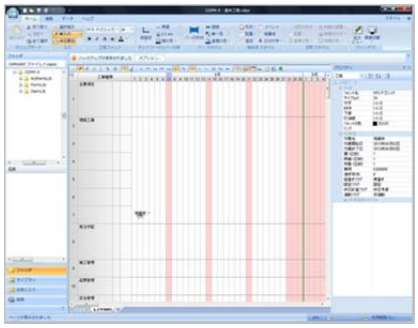
＜実線＞

② 作業名：地鎮祭　期間４月２日～４月２日
所要：１日　を入力します。
項目７行目の４月１日と４月２日の間にある日付線にマウスポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押した状態で、４月２日と４月３日の間にある日付線までマウスを動かし左ボタンを離します。
（この操作を、左ドラッグと呼びます。）
作業の始まる日は固定されていて、ドラッグしている間はマウスの移動する方向に伸縮自在な作業線を表示します。作業線の下には所要日数と実働日数が表示され、マウスの移動とともにツールチップの日数が変わります。





③ 作業線入力後にスマートＢＯＸを表示します。
『地鎮祭』と入力します。



④ 文字入力後 Enter キーを２回押し、入力文字を確定します。

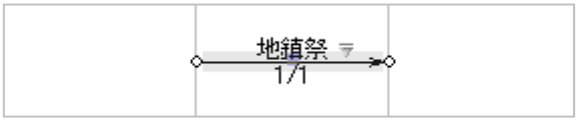
注　意

■作業線の下に表示される日数（日付）は作業日数表示モードの設定により異なります。作業線に日数（日付）を表示しないときは、表示モード『なし』を選択します。

参 考 ●工程表示画面にてマウスを動かすと、工程表のカレンダーエリア日付部分を反転表示し、同じように移動します。この反転表示を「カレンダーのツールチップ」と呼びます。また、マウスポインタが示すカレンダーの日付はツールチップに表示します。

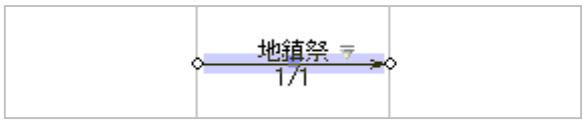
参 考 ●作業線の選択表示方法は２通りあります。

Ａ：ホバーセレクト　※選択している作業線には＜淡いグレー＞の色が表示になります。
＜選択/指示＞を選択し、
作業線上にマウスポインタを
合わせた状態



Ｂ：セレクト　※選択している作業線には＜淡いむらさき＞の色が表示になります。

＜選択/指示＞を選択し、
作業線上にマウスポインタを
合わせクリックした状態

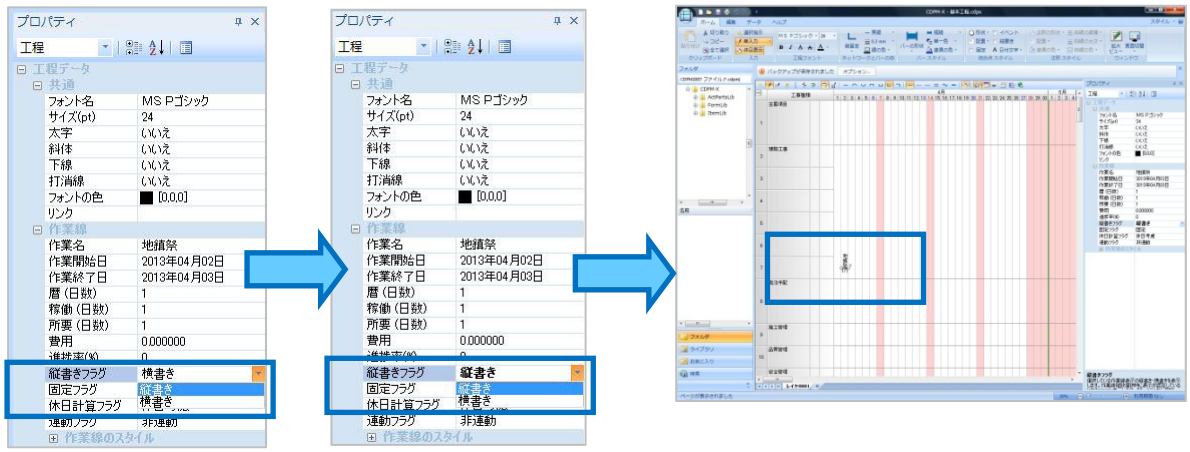


※プロパティビューを表示しているときは作業線をセレクト選択すると
工程カテゴリに切り替わり、セレクトしているデータの情報を表示します。
また、ホームリボンの各カテゴリもセレクト選択しているデータの情報を
表示します。

参 考 ●選択している作業線上にカーソルを合わせ右クリックすると、ポップアップメニューを表示し、［プロパティ］コマンドを選択すると［作業線のプロパティ］ダイアログボックスを表示します。

⑤　文字を縦書きに変更する

作業線をクリックしプロパティビューを工程カテゴリに切り替えます。
［縦書きフラグ］ドロップダウンリストの中から［縦書き］を選択します。



作業名の地鎮祭が作業線の中央に縦書き表示になりました。

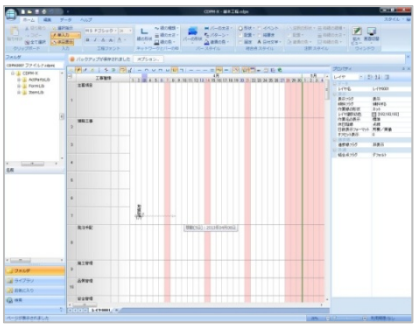
参 考 ●［作業線のプロパティ］ダイアログボックスからも縦書きに変更できます。
［作業線のプロパティ］ダイアログボックス－［標準］タブ内［縦書］ボタンを選択します。
選択しているときはボタンに色を表示します。

⑥　［ホーム］リボン－ネットワークとバーの枠内［線の種類］ドロップダウンリストから
＜波線＞　～　を選択します。

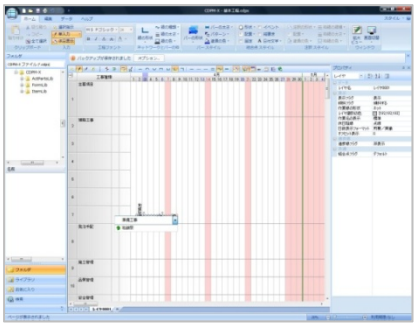
注 意 ■［線の種類］を変更するときは作業線を選択していない状態で行います。

⑦　作業名：準備工事　期間：４月３日～４月８日　所要：５日　を入力します。

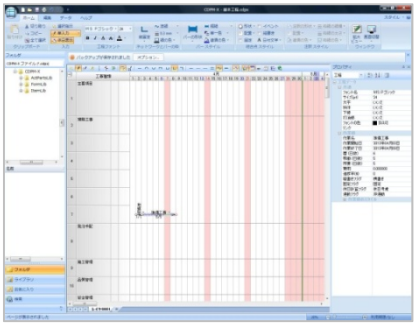
地鎮祭が終わる４月２日と準備工事が始まる
４月３日の間の日付線から、工事が終わる
４月８日と４月９日の間の日付線まで
左ドラッグし、スマート表示ＢＯＸに
『準備工事』と入力後、文字を確定します。



作業線を左ドラッグし入力します。



『準備工事』と入力します。



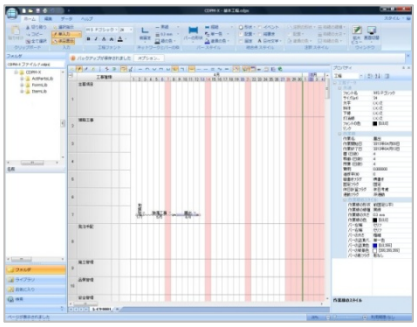
文字を確定します。

⑧　［ホーム］リボンーネットワークとバーの枠内［線の種類］ドロップダウンリストから
＜実線＞　　を選択します。

注 意　■［線の種類］を変更するときは作業線を選択していない状態で行います。

⑨　作業名：墨出　期間：４月９日～４月１２日　所要：４日　を入力します。

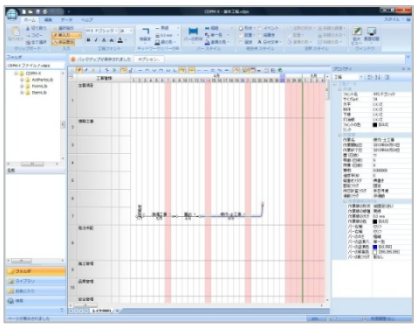
準備工事が終わる４月８日と
墨出が始まる４月９日の間の日付線から
墨出が終わる４月１２日と４月１３日の間の
日付線まで左ドラッグし、
スマート表示ＢＯＸに「墨出」と入力後、
文字を確定します。



⑩　［ホーム］リボンーネットワークとバーの枠内［線の種類］ドロップダウンリストから
＜後固定（逆Ｌ字）＞　　を選択します。

注 意　■［線の種類］を変更するときは作業線を選択していない状態で行います。

⑪　作業名：根伐・土工事　期間：４月１１日～４月２３日　所要：９日　を入力します。
墨出が終わる４月１２日と
根伐・土工事が始まる４月１３日の間の日付線から根伐・土工事が終わる４月２３日と４月２４日の間の日付線まで左ドラッグし、スマート表示ＢＯＸに「根伐・土工事」と入力後、文字を確定します。

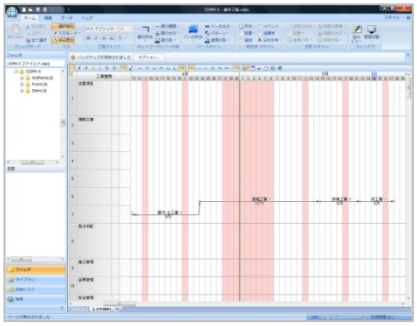


⑫　今まで行った操作を参考に、次の作業線を入力します。

作業名：基礎工事　所要：１１日
期　間：４月２４日～５月１４日

作業名：鉄骨建方　所要：　６日
期　間：５月１５日～５月２１日

作業名：床工事　所要：　５日
期　間：５月２２日～５月２７日



⑬　［ホーム］リボンーネットワークとバーの枠内［線の種類］ドロップダウンリストから＜前固定（Ｌ字）＞　L　を選択します。

注 意　■［線の種類］を変更するときは作業線を選択していない状態で行います。

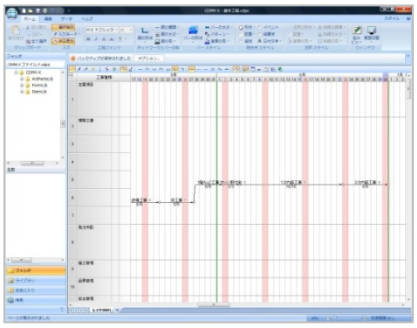
⑭　次の作業線を入力します。

作業名：１階ＡＬＣ工事　所要：　５日
期　間：５月２８日～６月　１日

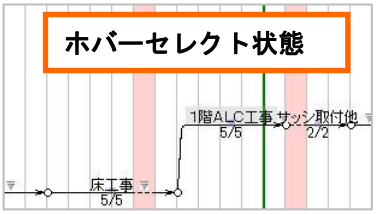
作業名：サッシ取付他　所要：　３日
期　間：６月　２日～６月　４日

作業名：１次内装工事　所要：１５日
期　間：６月　５日～６月２２日

作業名：２次内装工事　所要：　７日
期　間：６月２３日～６月３０日



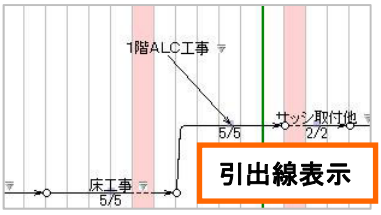
⑮　文字の表示位置を変更します。
［ホーム］リボンー入力内＜選択/指示＞選択後、
『１階ＡＬＣ工事』の作業名にマウスポインタを合わせると作業名がホバーセレクトの状態になり、
また、マウスカーソルの形が変化します。
その後マウスを左ドラッグすると作業線と作業名を結ぶ引出線を表示します。

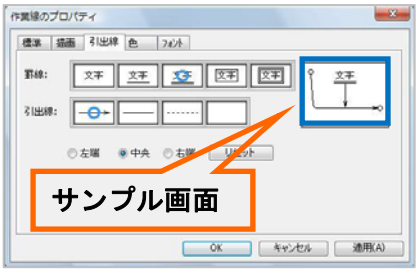


参　考

●引出線の表現を変更するには

作業名『１階ＡＬＣ工事』にマウスポインタを合わせ
右クリック、［プロパティ］コマンドを選択し
［作業線のプロパティ］－［引出線］タブを選択します。
罫線や引出線の表現、作業名からの引出線
表示開始位置を選択します。
選択した表現は右側サンプル画面に表示します。





⑯　作業線『サッシ取付他』の文字表示について同様に
表示位置を変更します。

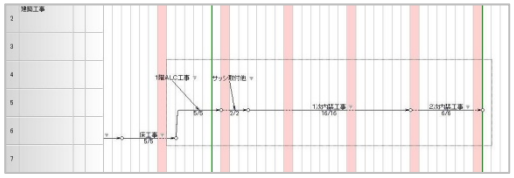
●工程表の内容をコピーする

工程表示画面において指定した領域に含まれる作業線・結合点・コメントボックスまたは選択した作業線・結合点・コメントボックスをクリップボードにコピーして他の位置に貼り付けることができます。

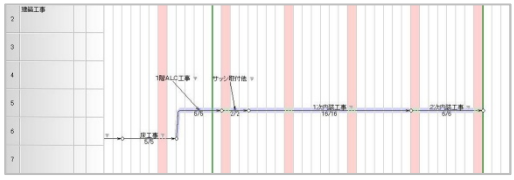
①　［ホーム］リボン－入力内＜選択/指示＞を選択します。
１階ＡＬＣ工事から２次内装工事までを選択します。

データを選択する方法はＡまたはＢいずれかの操作を行います。

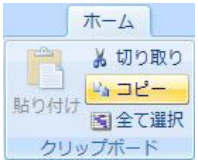
Ａ：コピーする領域を左ドラッグして指定
領域指定は、左上隅から右下隅へ
または右上隅から左下隅へ左ドラッグ
します。作業線をコピーするときは
両端にある結合点を含むように領域指定します。



Ｂ：コピーする作業線をクリックして指定
作業線をクリックしてセレクト状態に
します。複数の作業線を指定する
ときは、「Shift」キーを押しながら
作業線をクリックします。

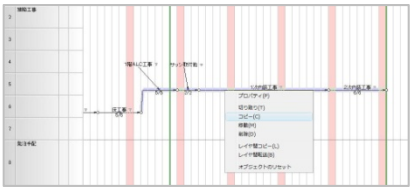


②　選択したデータをコピーします。
［ホーム］リボン－クリップボード内［コピー］コマンドを選択すると
クリップボードにデータをコピーします。



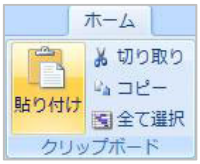
参 考 ●作業線ポップアップメニューからもコピーを選択できます。

領域指定またはセレクトした作業線上で右クリックするとポップアップメニューを表示します。
［コピー］コマンドを選択するとクリップボードにデータをコピーします。マウスを移動すると、コピーした領域の大きさを示す点線矩形を表示します。

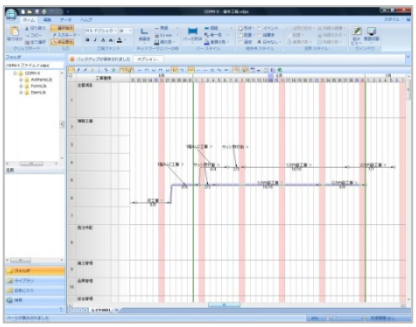


③ コピーデータを貼り付けます。

［ホーム］リボン－クリップボード内［貼り付け］コマンドを選択しデータを貼り付けします。



貼り付け先６月１日『１階ＡＬＣ工事』と『サッシ取付他』の間の結合点にコピーデータ点線矩形の左下隅が合うようにマウスポインタを移動し左クリックします。
その後、貼り付けした工程の６月６日『ＡＬＣ工事』と『サッシ取付他』の間の結合点へ同様の操作を行い、もう１度データを貼り付けます。



④ 右クリックにて点線矩形を解除し貼り付けを終了します。

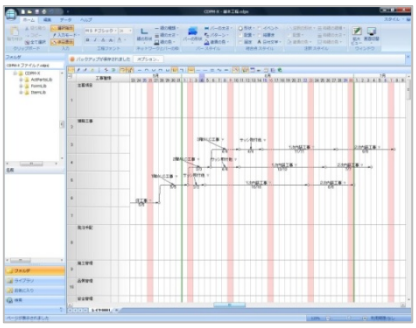
⑤ 貼り付けした作業線の作業名の変更および期間を調整します。

作業名：２階ＡＬＣ工事	期間：６月　２日～６月　５日	所要：　３日
作業名：サッシ取付他	期間：６月　６日～６月１０日	所要：　４日
作業名：１次内装工事	期間：６月１１日～６月２５日	所要：１３日
作業名：２次内装工事	期間：６月２６日～７月　３日	所要：　７日
作業名：３階ＡＬＣ工事	期間：６月　６日～６月１０日	所要：　４日
作業名：サッシ取付他	期間：６月１１日～６月１４日	所要：　４日
作業名：１次内装工事	期間：６月１５日～６月２７日	所要：１１日
作業名：２次内装工事	期間：６月２８日～７月　７日	所要：　８日

作業名の変更：　作業線をクリック選択、プロパティビューを［工程カテゴリ］に切り替え、［作業名］カテゴリにて変更します。

参 考 ●作業名の変更は［作業線のプロパティ］－［標準］タブ－［作業名：］テキストボックスからも行えます。

期間の変更：　［ホーム］リボン－入力内＜選択/指示＞を選択し、作業線終了結合点上にマウ
スポインタを合わせマウスカーソルが変化したことを確認し、左ドラックにて調整します。

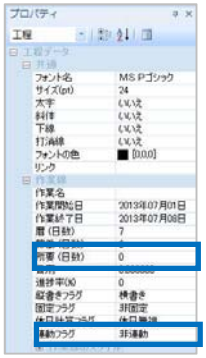


これまでの操作方法で、以下の作業線を入力します。

作業名：屋上防水工事　期間：６月１０日～６月２１日　所要：１０日　前固定（Ｌ字）/実線
作業名：外装工事　期間：６月２２日～７月　７日　所要：１３日　後固定（逆Ｌ字）/実線
作業名：諸検査　期間：７月　８日～７月１５日　所要：　６日　前固定（Ｌ字）/実線
作業名：引き渡し（縦書）　期間：７月１６日～７月１６日　所要：　１日　前固定（Ｌ字）/実線

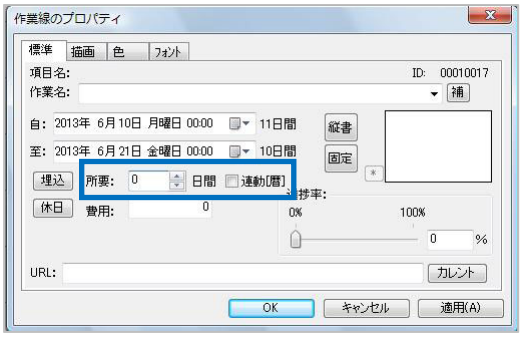
１階：２次内装工事作業線の終了結合点から
作業名：＜なし＞　期間：７月　１日～７月　７日　所要：　０日　後固定（逆Ｌ字）/点線
２階：２次内装工事作業線の終了結合点から
作業名：＜なし＞　期間：７月　４日～７月　７日　所要：　０日　後固定（逆Ｌ字）/点線

所要を「０日」に設定し、特定の作業線に日付を表示しない設定を行います。
プロパティビューを画面に表示します。
所要日数を変更する作業線をクリックして選択しプロパティビューを［工程］カテゴリに切り替えます。
［工程］カテゴリの数値を「０」にし、［連動フラグ］ドロップダウンリストから［非連動］を選択します。



参　考

●所要日数の変更は［作業線のプロパティ］－［標準］タブからも行えます。
［作業線のプロパティ］－［標準］タブ内－休日ボタンＯＮのとき連動［実］チェックボックス（休日ボタンＯＦＦのときは連動［暦］チェックボックスになります。）のチェックをクリックして外します。



［所要：］テキストボックスに『日数』を入力します。
※線の種類＜点線＞・＜一点鎖線＞を選択すると自動的に休日ボタンがＯＦＦになります。

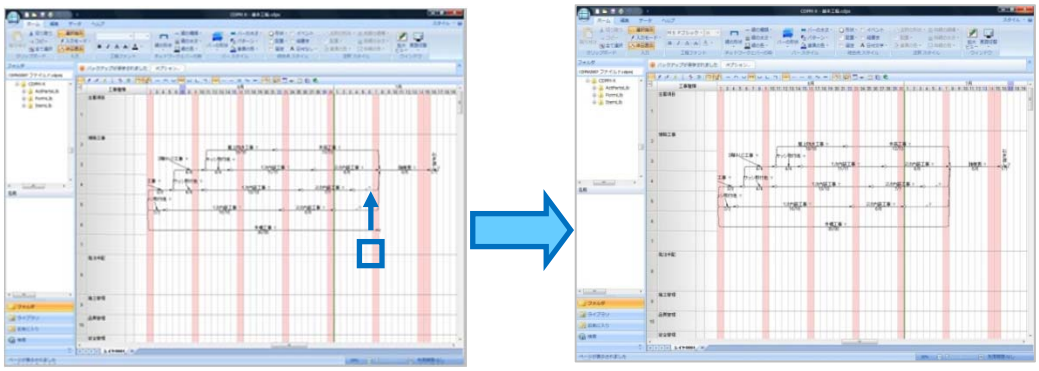
[ホーム]リボン－線の形状＜両固定（Ｌ）＞　　を使用し作業線を入力します。

注 意　■[線の種類]を変更するときは作業線を選択していない状態で行います。

１階ＡＬＣ工事作業線終了結合点から

作業名：外構工事　　期間：６月　２日～７月　７日　所要：１１日　　両固定（Ｌ）/実線

[ホーム]リボン－＜選択/指示＞ボタンを選択後、外構工事終了結合点上にマウスポインタを合わせ結合点を３階：２次内装工事作業線の終了結合点までドラッグします。

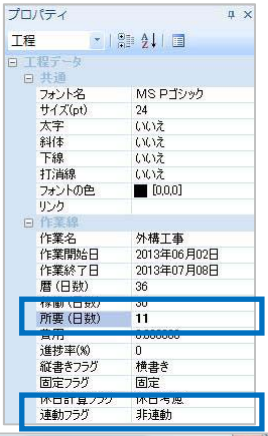


所要日数を変更します。

外構工事作業線をクリック選択し、プロパティビューカテゴリ表示を[工程]に切り替えます。

[連動フラグ]ドロップダウンリストにて『非連動』を選択します。

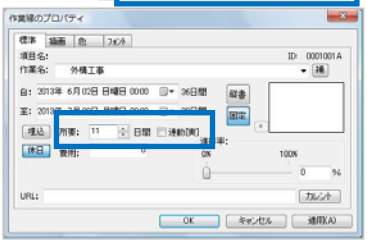
[所要（日数）]カテゴリにて所要日数を『１１』に変更します。



参 考　●所要日数の変更について

所要日数の変更は[作業線のプロパティ]－[標準]タブからも行えます。

[作業線のプロパティ]－[標準]タブ内－休日ボタンＯＮのとき連動[実]チェックボックス（休日ボタンＯＦＦのときは連動[暦]チェックボックスになります。）のチェックをクリックして外します。[所要：]テキストボックスに『１１』を入力します。



次に発注手配に含まれる作業線を入力します。

作業名：作図　　期間：４月２３日～５月　７日　所要：　６日　　前固定（Ｌ字）/実線

作業名：チェック　　期間：５月　８日～５月１４日　所要：　６日　　前固定（Ｌ字）/実線

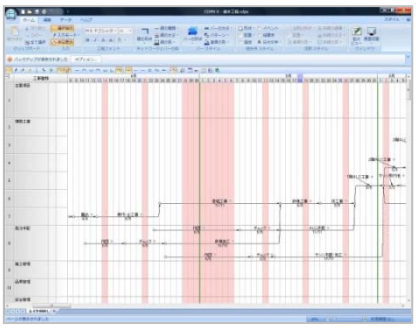
作業名：ＡＬＣ手配　　期間：５月１５日～５月２７日　所要：１１日　　後固定（逆Ｌ字）/実線

作業名：作図　　期間：４月１１日～４月１７日　所要：　６日　　前固定（Ｌ字）/実線

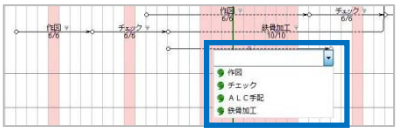
作業名：チェック　　期間：４月１８日～４月２４日　所要：　６日　　前固定（Ｌ字）/実線

作業名：鉄骨加工　　期間：４月２５日～５月１４日　所要：１０日　　後固定（逆Ｌ字）/実線

作業名：作図	期間：４月２５日～５月　９日	所要：　６日	前固定（Ｌ字）/実線
作業名：チェック	期間：５月１０日～５月１３日	所要：　３日	前固定（Ｌ字）/実線
作業名：サッシ手配・加工	期間：５月１４日～６月　２日	所要：１７日	後固定（逆Ｌ字）/実線



参　考　●同じ項目行に同じ作業名の作業線を入力するとき
スマート表示ＢＯＸリストの中から作業名を選択
できます。



工程表にイベントを入力する

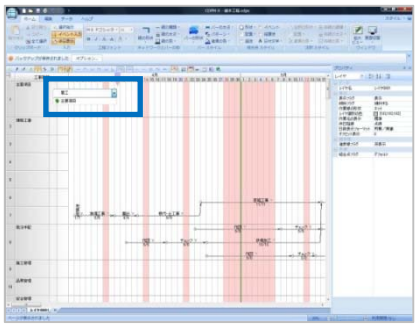
［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリスト内＜イベント入力＞ボタンから文字を入力する操作を説明します。

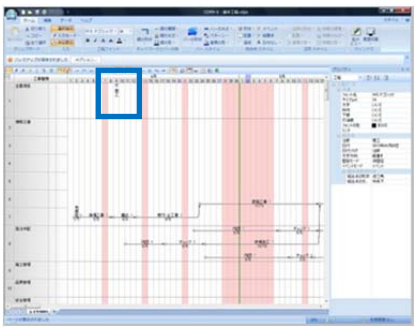
●イベントを入力する

［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリスト＜イベント入力＞ボタンを選択すると自動的に入力文字がユニット中央・縦書表示になります。
この機能を使用しイベントを入力する操作について説明します。

①　［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストのボタンを変更します。
＜イベント入力＞ボタン　を選択時マウスカーソルが　に切り替わります。

②　４月９日にマウスカーソルを合わせ左クリックします。
スマート表示ＢＯＸが表示され『着工』と入力し、文字を確定します。

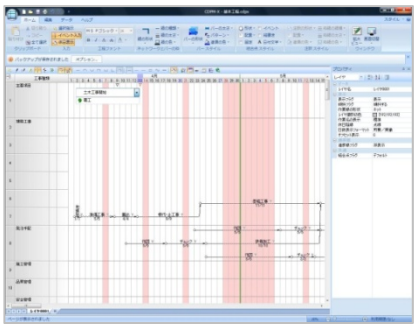




※入力文字『着工』はユニット中央・縦書、形状は「▽」を表示します。

マウスカーソルがイベント入力を維持しますので連続して入力できます。
イベント入力を解除するときは右クリック、または入力モードドロップダウンリストから別のボタンを選択し切り替えます。

③　４月１３日に『土木工事開始』と入力します。
マウスカーソルを４月１３日に合わせ左クリック
スマート表示ＢＯＸに『土木工事開始』と
入力後文字を確定します。



次のイベントを入力します。

日付：４月２４日　　基礎工事開始
日付：５月１５日　　鉄骨建て方開始
日付：５月２８日　　ＡＬＣ工事開始
日付：６月　５日　　内装工事開始
日付：７月　２日　　外部足場解体
日付：７月　８日　　諸官庁検査開始
日付：７月１６日　　御引き渡し

●結合点に文字を入力する

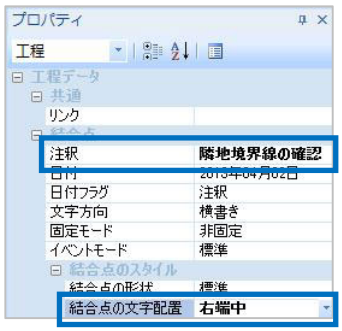
［結合点］に文字を入力する操作について説明します。

①　［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストにて次のボタンに変更します。

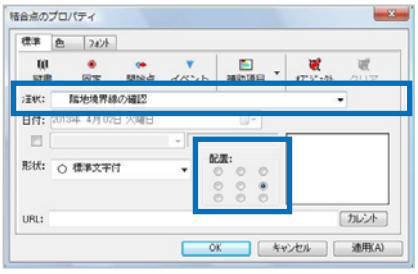
＜単入力＞ボタン　　を選択します。

②　項目行「施工管理」の４月２日にマウスカーソルを合わせて左クリックします。
４月１日と２日の間にある日付線上に結合点「○」を表示します。

③　結合点にマウスカーソルを合わせてクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を［工程］に切り替えます。
注釈カテゴリに「隣地境界線の確認」の文字を入力します。［結合点の文字配置］ドロップダウンリストにて「右端中」を選択します。
※［工程］カテゴリに［結合点の文字配置］が表示されていないときは、田結合点のスタイルの田マークをクリックします。



参　考　●結合点への文字入力は［結合点のプロパティ］－［標準］タブからも行えます。
［注釈］テキストボックスに文字を入力します。
配置のエリアにて右側中央の○をクリックし選択します。



●結合点をコピーして文字を変更する

結合点文字入力を行うとき新たに結合点データを入力する他に、すでに作成済みの結合点データをコピー貼り付けし文字の変更を行います。キーボードとマウスを使用し結合点をコピーする操作と文字の変更について説明します。

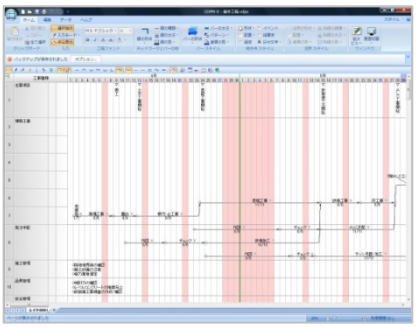
① [ホーム]リボン－入力内[入力モード]ドロップダウンリストからの次のボタンを選択します。
＜選択/指示＞ボタン　　を選択します。

② 「Shift」キーを押しながら『隣地境界線の確認』の文字左側にある結合点上にマウスポインタを合わせ、マウスカーソルが変化したとき左ドラッグを開始し、『隣地境界線の確認』の文字前の結合点「○」の下で左ドラッグを終了します。

注 意 ■左ドラッグの操作中にキーボードの「Shift」キーを押してもコピーできません。
最初に「Shift」キーを押してからドラッグ操作を行います。

③ コピーした『隣地境界線の確認』をクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を「工程」に切り替えます。
注釈カテゴリの「隣地境界線の確認」を「施工計画の立案」に変更します。

結合点を使用して以下の文字を横書きにし、
４月２日に入力します。



『施工管理』項目行：協力業者選定
『品質管理』項目行：地耐力の確認
『品質管理』項目行：レベルコンクリートの精度向上
『品質管理』項目行：鉄骨施工要領書の作成・確認

●作業線の開始及び終了結合点に文字を入力する

作業線の開始及び終了結合点に文字を縦書きに入力する操作を説明します。
プロパティビュー工程カテゴリから文字を入力し縦書きにします。

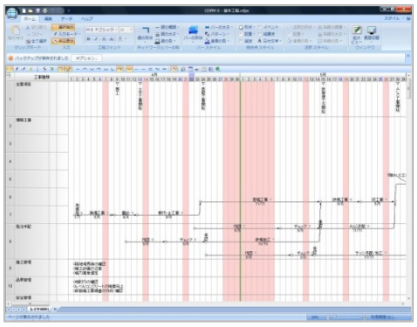
① [ホーム]リボン－入力内[入力モード]ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。
＜選択指示＞ボタン　　を選択します。

② 縦書文字を入力する作業線の結合点にマウスカーソルを合わせクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を[工程]に切り替えます。

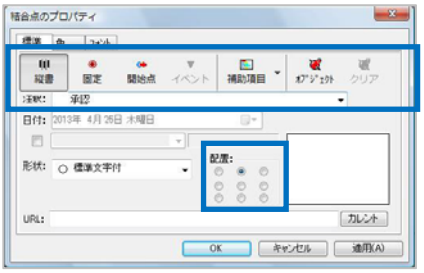
プロパティビューカテゴリ表示を［工程］に切り替え、
［注釈］に『承認』と入力し、
［文字方向］ドロップダウンリストにて［縦書き］を選択します。

項目行「発注手配」に含まれる次の結合点を
縦書きに設定し『承認』と入力します。

４月２５日　　「鉄骨加工」の開始結合点
５月１４日　　「サッシ手配・加工」の開始結合点



参 考　●結合点への縦書き文字入力は［結合点のプロパティ］－［標準］タブからも行えます。
［注釈］テキストボックスに文字を入力します。
［縦書］ボタンをクリックして選択します。
配置のエリアにて中央上の〇をクリックし
選択します。



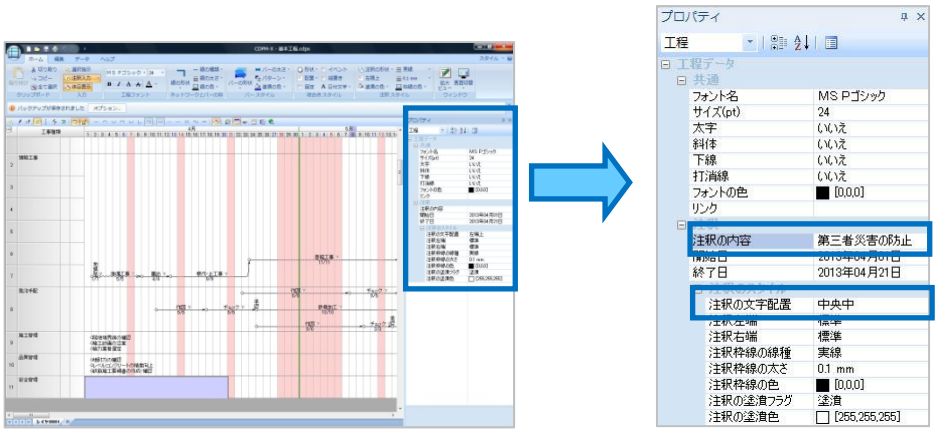
●注釈から文字を入力する

＜注釈＞ボタンを選択し文字を入力する操作を説明します。

① ［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。
＜注釈＞ボタン　　を選択します。

② 項目行『安全管理』４月１日から４月２０日まで左ドラッグして位置を設定します。
位置を設定直後はセレクト状態の色を表示し枠線で囲われます。
プロパティビューカテゴリ表示は［工程］に切り替わり、セレクト状態データの
プロパティ情報を表示します。

③ ［工程］カテゴリに文字を入力し、文字表示位置を変更します。
［工程］カテゴリ内注釈の内容に「第三者災害の防止」と入力します。
［注釈の文字位置］ドロップダウンリストから「中央中」を選択します。



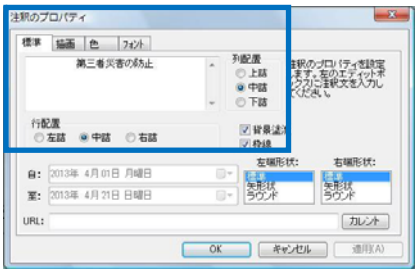
※［工程］カテゴリに［注釈の文字配置］が表示されていないときは、注釈のスタイルの田マークをクリックします。

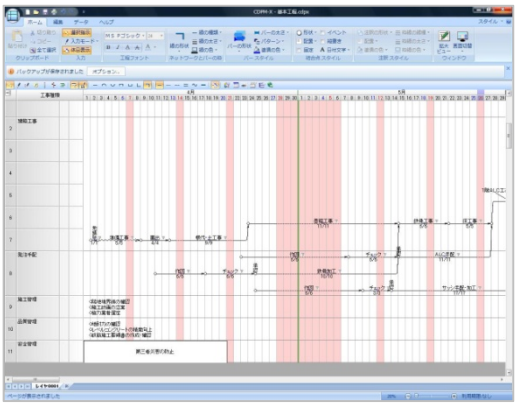
参 考 ●注釈への文字入力は［注釈のプロパティ］－［標準］タブからも行えます。

標準タブ－左上テキストボックスに文字を入力します。

行配置にて「中詰」を選択します。

列配置にて「中詰」を選択します。





設定した注釈エリアの中央に『第三者災害の防止』と文字を表示します。

●注釈をコピーして文字を変更する

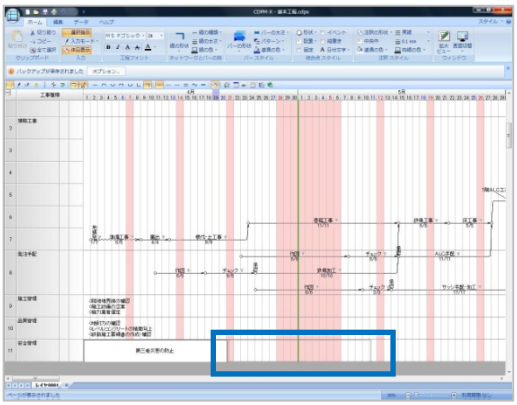
すでに作成済みの注釈データをコピーして文字を変更する操作について、キーボードとマウスを使用しコピーする方法と文字の変更について説明します。

① ［ホーム］リボン－入力内［入力モード］ドロップダウンリストから次のボタンを選択します。

＜選択指示＞ボタン　　を選択します。

② 「Ctrl」キーを押しながら注釈データ『第三者災害の防止』のエリア内にマウスポインタを合わせマウスカーソルが変化したとき左ドラッグします。

点線矩形と既に作成済みの注釈データが重ならないように注意し、コピー先まで左ドラッグします。



このとき注釈データエリアと同じサイズの点線矩形を表示します。

③　コピーした注釈上をクリックし、プロパティビューのカテゴリ表示を「工程」に切り替えます。
［工程］カテゴリ内注釈の内容「第三者災害の防止」を「重機災害の防止」に変更します。

注釈データをコピーして『安全管理』項目行に文字を表示します。

注釈表示期間：５月１１日～５月３０日　　電気災害の防止
注釈表示期間：５月３１日～６月１９日　　飛来・落下災害の防止
注釈表示期間：６月２０日～７月　９日　　墜落災害の防止
注釈表示期間：７月１０日～７月２９日　　火災災害の防止

工程表を印刷する

印刷イメージをみて体裁を整える

工程表を印刷前に、印刷イメージをみながら工程表の体裁を整えるための操作を説明します。

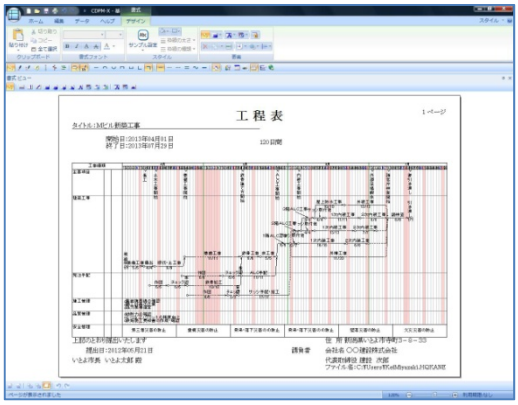
●印刷イメージをみる

工程表を印刷するまえに、印刷イメージを画面に表示します。

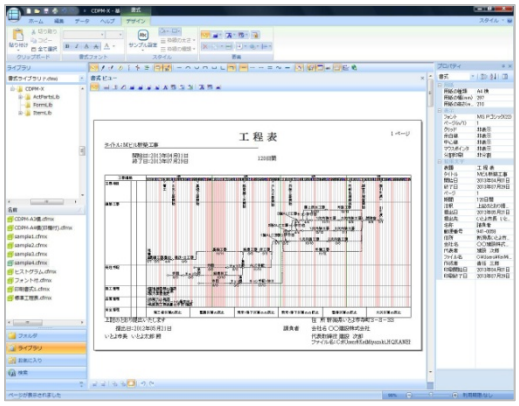
① 印刷イメージを表示します。
［ホーム］リボンーウィンドウ内［画面切替］ドロップダウンリストから［書式ビュー］を選択します。

書式ビューのサイズと表示位置はご使用のモニターサイズに合わせて調整します。

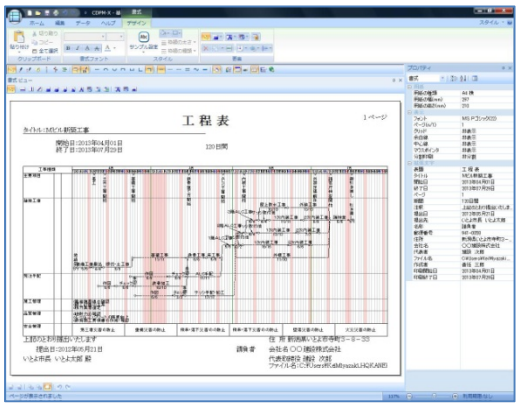
書式ビューなどのモニター表示サンプル



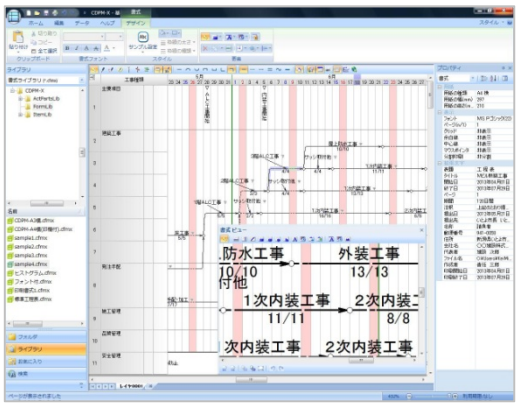
書式ビューを全体に表示



書式ビュー＋左右に 2 つのビューを表示



書式ビュー＋右側に 1 つのビュー表示



拡大ビュー＋左右に 2 つのビュー表示

参 考 ●拡大ビューの設定について
［ホーム］リボンーウィンドウ内［拡大ビュー］ボタンをクリックします。
工程表示画面にて拡大して表示したいエリアをドラッグし選択します。

●印刷書式を選択する

書式をあらかじめ登録しておくと、書式を変更し印刷することができます。

保存している書式データ名を表示し、書式データを変更します。
書式データ（書式の雛型）を変更するにはＡ・Ｂ・Ｃいずれかの操作を行います。

Ａ：ナビゲーションバーから書式データを選択

① ナビゲーションバー内[ライブラリ]を選択します。上部ドロップダウンリストから表示するデータ形式を選択します。
書式ライブラリ(*.cfmx)または書式 2007 ライブラリ(*.cfm)

② 書式データの保存先を選択します。

③ 選択した保存先の書式データ名を表示します。

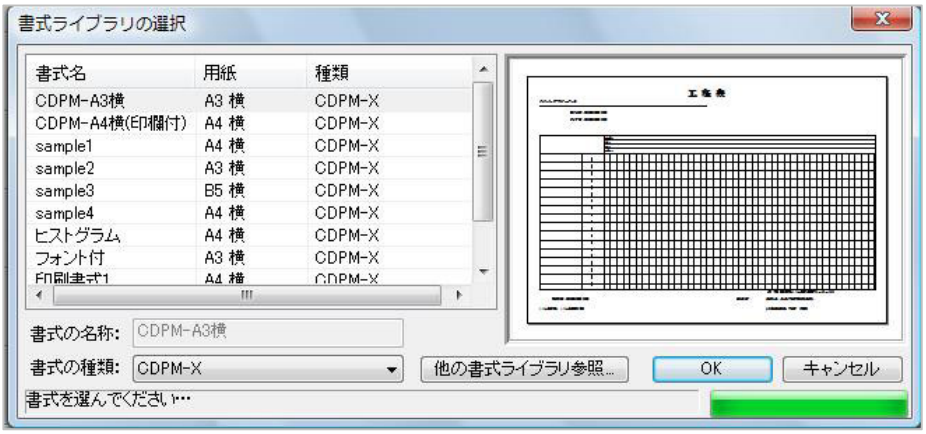
④ 書式名「sample4.cfmx」をダブルクリックし、書式データを変更します。

Ｂ：[メニューボタン]－[書式ライブラリ]を選択

[ナビゲーションバー]と[書式ライブラリの選択]ダイアログボックスを表示します。
書式ライブラリの選択ダイアログボックスから書式データを選択します。

① 左側リストの中から書式名を選択すると右側に書式イメージを表示します。

② ＜ＯＫ＞ボタンをクリックし書式データを変更します。



Ｃ：[メニューボタン]－[書式ライブラリ]内[クイックライブラリ（書式）]を選択

ナビゲーションバーを表示し、「書式ビューを表示しますか」メッセージを表示します。
書式データの変更は[ナビゲーションバー]から行えます。
※「Ａ：ナビゲーションバーから書式データを選択」を参照

参 考 ●印刷イメージを拡大または縮小するには全体表示をＯＦＦにします。

[書式バー]－[全体表示]ボタン をクリックし全体表示をＯＦＦにします。
印刷イメージを拡大または縮小するにはＡ・Ｂいずれかの操作を行います。

Ａ：書式バーの[拡大]・[縮小]ボタンを使用する。

① 拡大表示 [書式バー]－[拡大]ボタン をクリックします。

② 縮小表示 [書式バー]－[縮小]ボタン をクリックします。

Ｂ：キーボードとマウスホイールを使用する。

書式ビュー上をクリックします。

「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをゆっくりスクロールします。

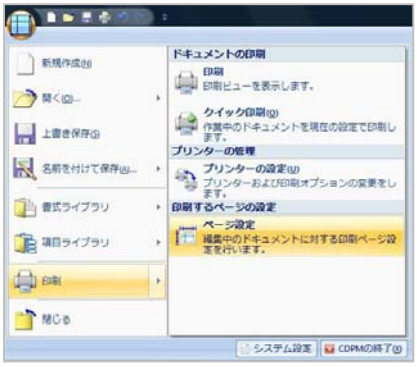
※「Ctrl」キーを押しながらマウスホイールをスクロールしても画面が拡大縮小しないときは、全体表示がＯＮまたは書式ビューを選択していません。

全体表示ＯＦＦの確認と書式ビュー画面上をクリックし選択します。

●設定している用紙サイズ１枚にデータを収める

設定用紙サイズ１枚に全ての工程が収まるように設定する操作を説明します。

①　［メニューボタン］－印刷内［ページ設定］コマンドを選択します。

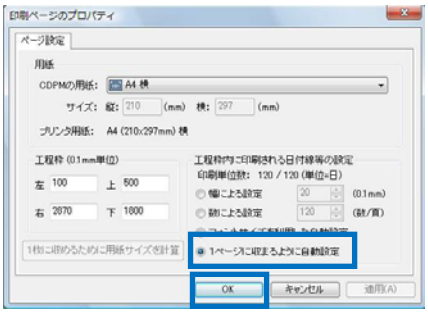


※カーソルを「印刷」の文字の上に重ねると、右側に印刷に関するコマンドを表示します。

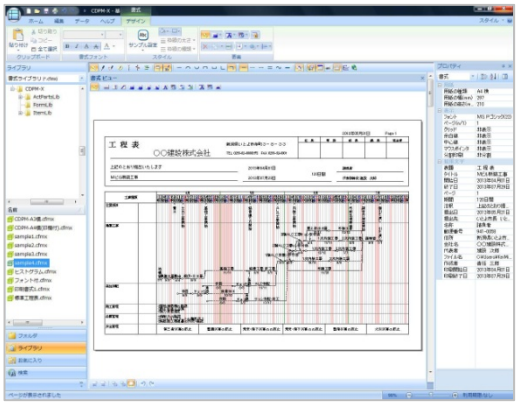
※「印刷」の文字をクリックすると、印刷ビューなどを画面に表示します。

②　印刷ページのプロパティダイアログボックスが表示になります。

工程枠内に印刷される日付線等の設定にて［１ページに収まるように自動設定］を選択します。

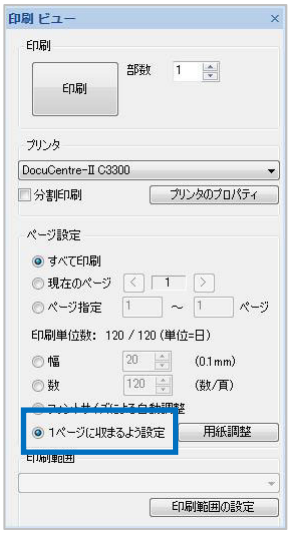


③　＜ＯＫ＞ボタンをクリックします。



参 考

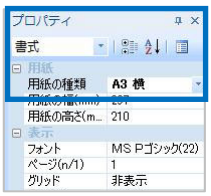
●［１ページに収まるように自動設定］は
印刷ビューからも行えます。
［ホーム］リボンーウィンドウ内［画面切替］
ドロップダウンリストにて［印刷ビュー］を選択します。
「１ページに収まるように設定」をクリックして
選択します。



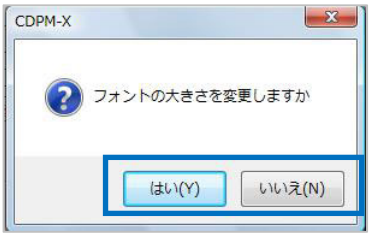
●用紙サイズを変更する

印刷する用紙サイズを変更する設定を説明します。

① プロパティビューカテゴリのドロップダウンリストから［書式］を選択します。
［用紙の種類］ドロップダウンリストにて『Ａ３横』を選択します。
「フォントの大きさを変更しますか」メッセージが表示になります。

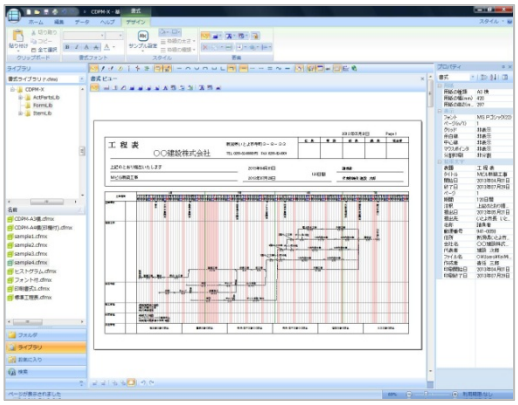


「は　い」を選択：書式要素のフォントデータを
新しい書式サイズに合わせて、
拡大または縮小します。



「いいえ」を選択：設定している書式要素の
フォントサイズを維持します。

選択した用紙サイズ１ページ内に全ての工程が収まりました。



●工程表をプリンタやプロッタに出力する

工程表を印刷する操作を説明します。工程表を印刷するには次のように操作します。

① ［印刷ビュー］を画面に表示します。
［ホーム］リボンーウィンドウ内［画面切替］ドロップダウンリストから［印刷ビュー］を選択します。

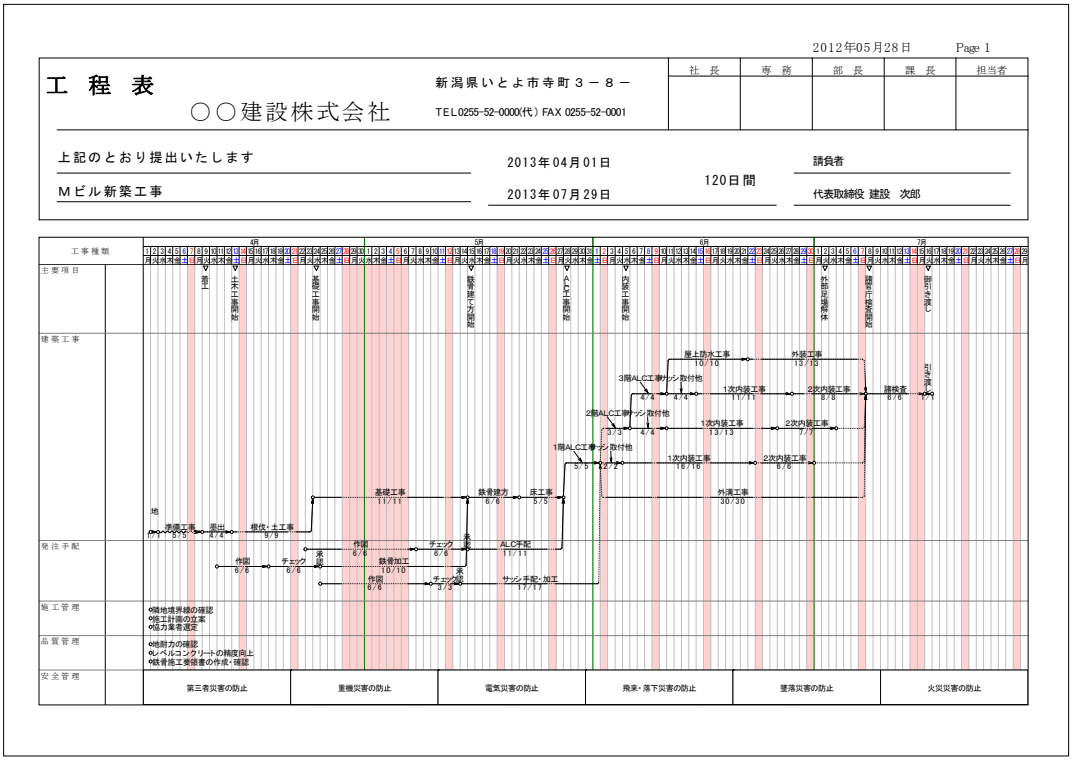
印刷ビューには、印刷に関連する『ページ設定』と『印刷範囲の設定』や設定済の『印刷範囲』のリストを表示します。

参 考 ●印刷ビューの表示はＡ・Ｂいずれの操作からも行えます。
Ａ：［メニューボタン］－ 印刷内［印刷］ を選択。
Ｂ：工程バー内［印刷ビュー］ボタンを選択。

② 印刷するプリンタを選択します。
プリンタドロップダウンリストの中から選択します。

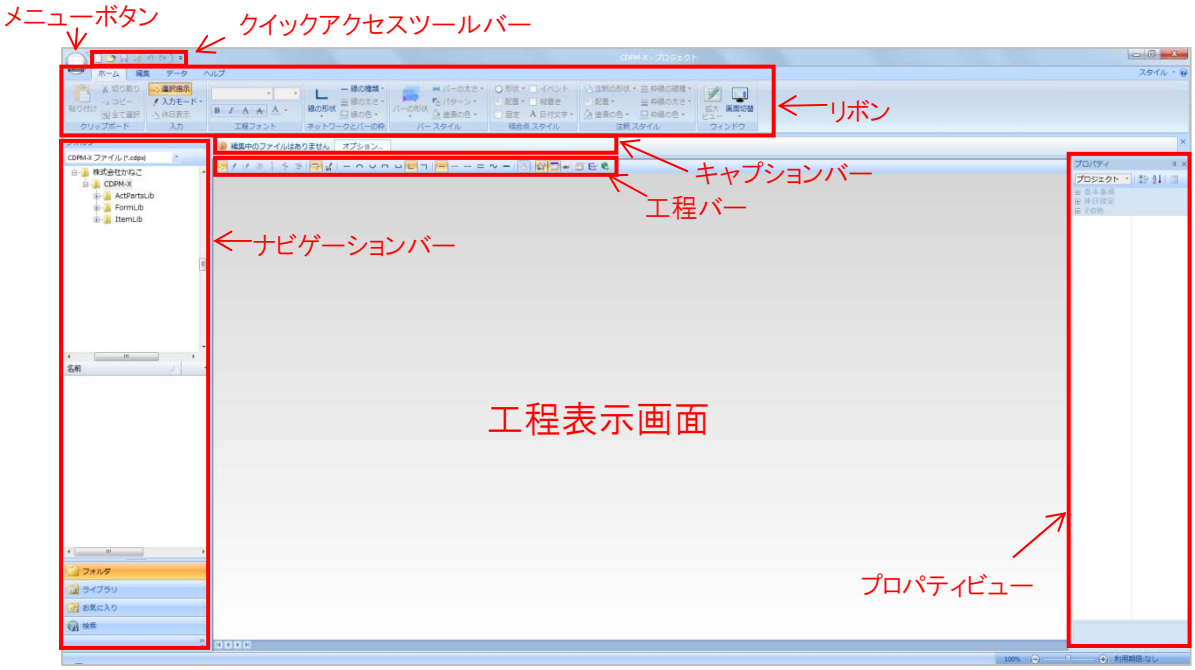
③ ［印刷］ボタンをクリックします。

印刷イメージ



ＣＤＰＭ－Ｘ　の画面構成

初回起動時の画面構成について説明します。



ＣＤＰＭ－Ｘ初回起動時の画面

① メニューボタン
左上に「メニューボタン」があります。ＣＤＰＭ－Ｘのメニューを表示します。

② クイックアクセスツールバー
「メニューボタン」横に「クイックアクセスツールバー」を表示します。
ここにはよく使うコマンドの登録を行います。

③ リボン
ＣＤＰＭ－Ｘから取り入れた新しいユーザーインターフェースになります。
ＣＤＰＭをより効率的に使うために従来のメニューを見直しました。
リボンは「タブ」・「コマンド」・「グループ」という基本的な構成要素からなっています。
リボンの上部に「タブ」を表示します。内容は「ホーム」・「編集」・「データ」・「ヘルプ」・「デザイン」です。
※「デザイン」タブは書式ビューに印刷時のデータを表示し、書式ビュー画面を選択しているときリボンに追加表示します。
各タブにはコマンドが配置されています。一番下にはグループが表示されています。
グループではタブ内で関連するコマンドをまとめて表示しています。

④ ナビゲーションバー
ＣＤＰＭ－Ｘのファイルを開く操作、ライブラリ操作（書式の切り替え、項目マスターの追加）などを行います。
ナビゲーションバーは画面上に表示または非表示の設定を選択できます。

⑤ キャプションバー
リボンの下に「キャプションバー」を表示しています。
ファイル操作に対する情報を表示します。
キャプションバーは画面上に表示または非表示の設定を選択できます。

⑥ 工程バー
工程表示画面上部に「工程バー」を表示しています。
工程の入力に関する切り替えや各ビューの画面表示の切り替えをボタンＯＮ/ＯＦＦ操作にて行います。

⑦ 工程表示画面
画面中央に「工程表示画面」を配置しています。
工程データなどの入力や編集を行う画面になります。
新規作成設定後または既存データを開いたときに工程表示画面を表示します。

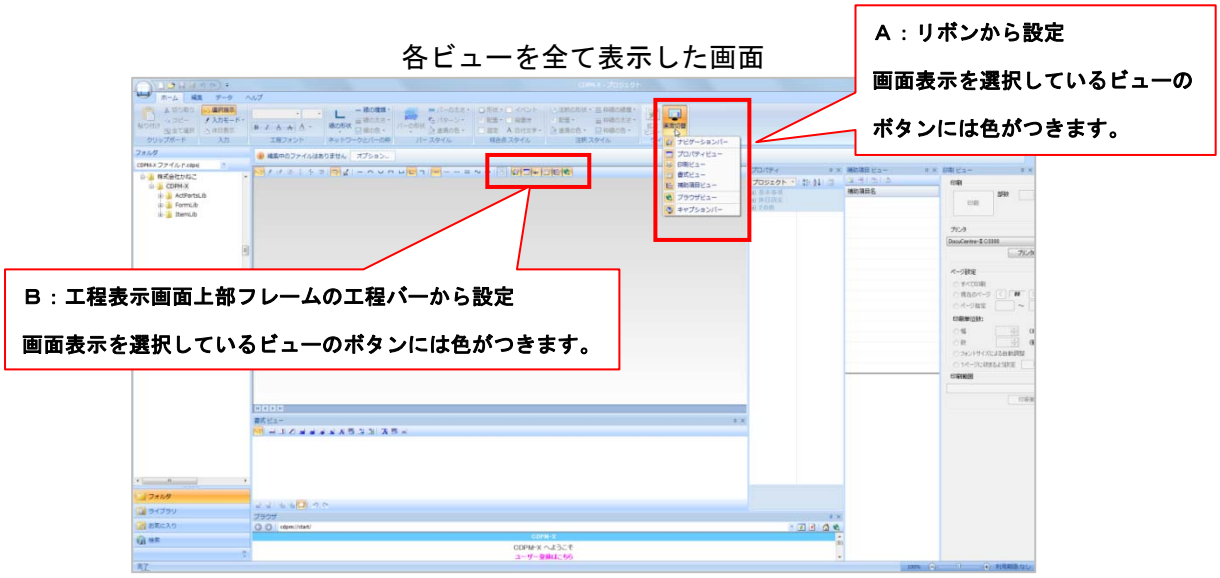
⑧ プロパティビュー
選択した要素のプロパティ情報を表示します。
プロパティビューからも編集を行えます。
プロパティビューは画面上に表示または非表示の設定を選択できます。

ビューのレイアウト

ＣＤＰＭ－Ｘは、専用ビューとして「プロパティビュー」・「印刷ビュー」・「書式ビュー」「補助項目ビュー」・「ブラウザビュー」を用意しています。
各ビューは「ドッキング」または「フローティング」を選択し画面上に配置します。

ドッキング：フレームにビューをドッキングした形で配置
フローティング：自由な場所に配置

各ビューを全て表示した画面



ビューを表示または非表示にするにはＡ・Ｂいずれかの設定を行います。
Ａ：リボンから設定
[ホームタブ]－ウィンドウ内[画面切替]ドロップダウンリストを表示しビューの名称を選択

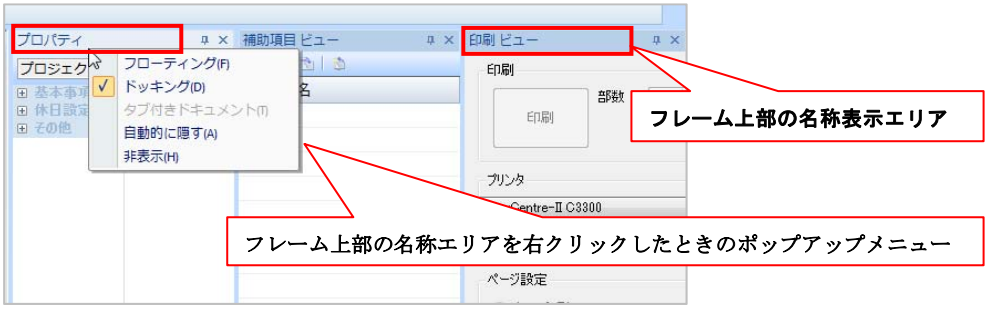
Ｂ：工程表示画面上部フレームの工程バーから設定
工程バーの各ビューのボタンを選択

最初に各ビューを全て表示すると、上の図のように配置します。
各ビューは、ドッキング、フローティングを利用し作業しやすい場所に配置します。
一度配置すると次回起動時または次回表示したときも同じ場所に表示します

●ドッキング フローティングの切り替え

ドッキングからフローティングへの切り替えはＡ・Ｂいずれかの操作を行います。
Ａ：ダブルクリックをする方法
ビューフレーム上部の名称を表示しているエリアをダブルクリック
Ｂ：ドラッグする方法
ビューフレーム上部の名称を表示しているエリアをドラッグし任意の場所に配置

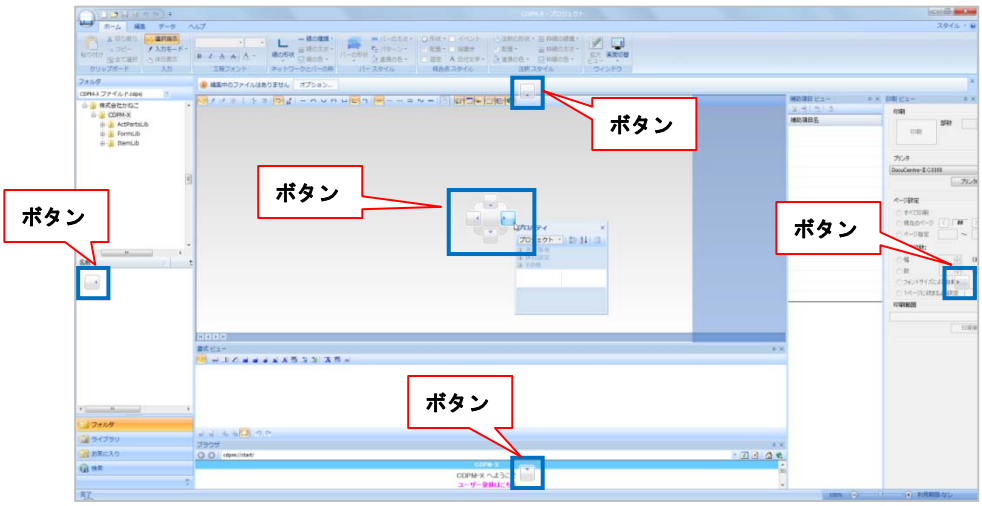
フローティングからドッキングへの切替えはＡ・Ｃいずれかの操作を行います。
Ａ：ダブルクリックをする方法
ビューフレーム上部の名称を表示しているエリアをダブルクリック
Ｃ：右クリックしポップアップメニューから選択
ビューの上で右クリックしポップアップメニューからドッキングを選択



●ビューの配置方法

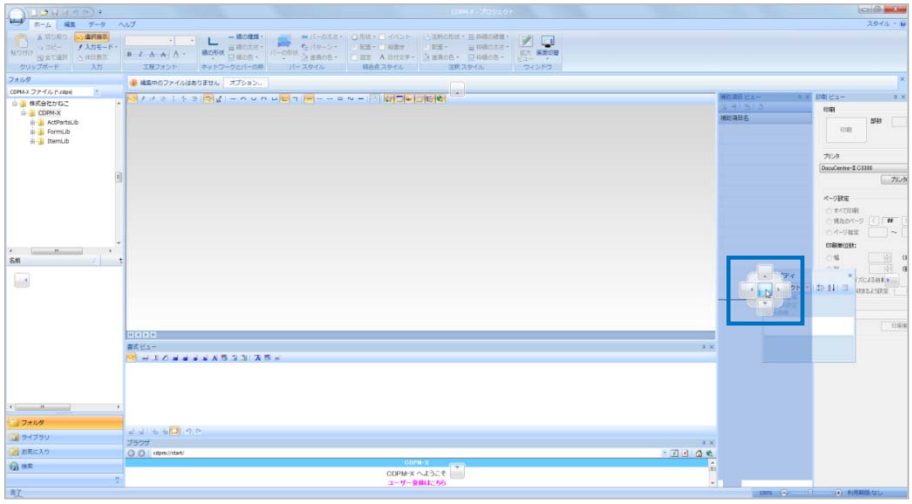
ドッキングについて
フローティングしたビューをドラッグすると画面上に下の図のボタンを表示します。
ビューをボタンに合わせることでドッキングすることができます。
また、他のビューの上に移動することで、そのビューに対して上下左右のボタンが表示され、ボタンの位置にあわせることで他のビューの上や横に配置します。
ドッキングを選択している場合は「自動的に隠す」を選択することができます。
「自動的に隠す」を選択し、ビューの名称上にカーソルを合わせると自動的に表示しビューからカーソルが離れると自動的にビューを隠します。

フローティングについて
自由な位置に配置することができます。
※ドラッグしたときに表示するボタンに重ならないように配置します。



●ビュー のタブ化

ビューの表示を重ねてタブ化することができます。ビューをドラッグし他のビューの上に移動すると下の図のようにボタンを表示します。上下左右を選択し配置、または中央を選択することで同じ場所に配置となり、配置後はタブの選択でビューの表示を切り替えることができます。
ドッキング設定のビュー、フローティング設定のビューともにタブ化の設定を行えます。



●ビュー のサイズを変更

ＣＤＰＭ－Ｘではビューのフレームをドラッグしてサイズを変更します。
ビューのフレーム上にカーソルを合わせ、カーソルの形が変化したときにドラッグします。
ビューのドッキング設定時とフローティング設定時ではフレーム上にカーソルを合わせたときに変化するカーソルの形が異なります。

ドッキングしているビューのサイズを変更する
　ビューのフレーム上にカーソルを合わせるとカーソルの形が変化します。
　※白い矢印のカーソルは黒い二本線に黒い矢印の形に変化
　カーソルの形が変化したときにドラッグしてビューの大きさを変更します。

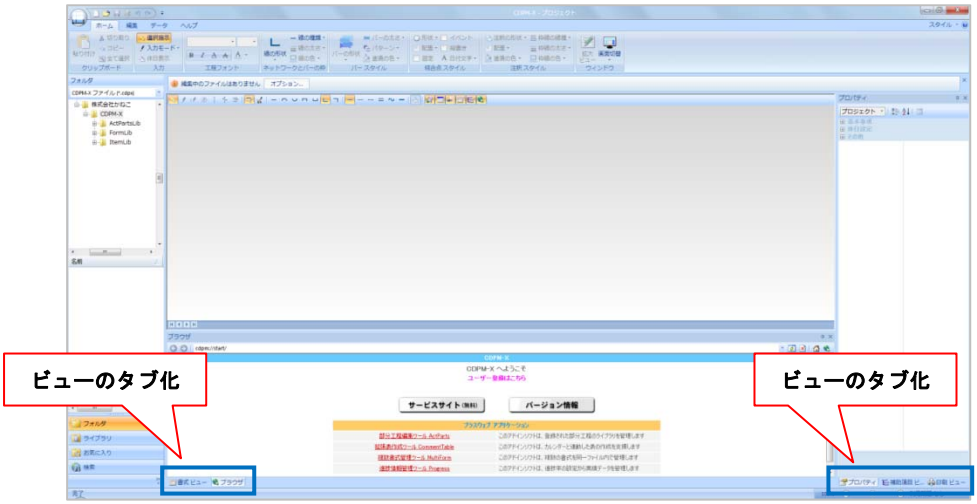
　※ドッキング設定ビューのサイズを変更するときのカーソルの形

フローティングしているビューのサイズを変更する
　ビューのフレーム上にカーソルを合わせるとカーソルの形が変化します。
　※白い矢印のカーソルは白い両端部矢印の形に変化
　カーソルの形が変化したときにドラッグしてビューの大きさを変更します。

※フローティング設定ビューのサイズを変更するときのカーソルの形

●画面レイアウトの例

画面の配置例　その１
書式ビュー、ブラウザビューをタブ化し工程表示画面の下に配置。
プロパティビュー、補助項目ビュー、印刷ビューをタブ化し画面右に配置。



画面の配置例：その２
書式ビューとブラウザビューをタブ化しフローティング。
フローティングしたビューの大きさを変更する場合は、下の図のように四隅にカーソルを合わせ、カーソルの形が矢印に変化したときにドラッグします。
四隅の他にビューフレーム上下左右からも大きさを変更することができます。

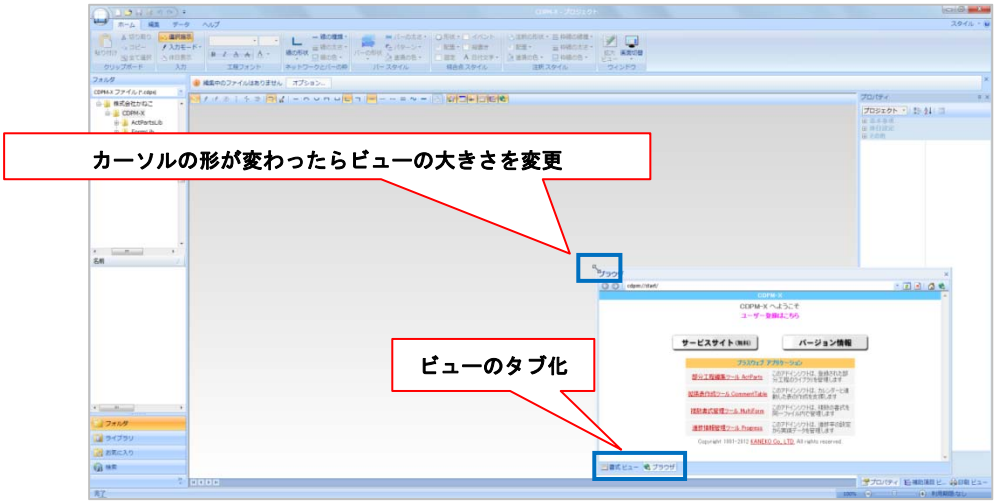


Chart Drawing system for Project Management

CDPM－Xマニュアル　チュートリアル

発行日 ： 2012 年 6 月 1 日　初版

2012 年 6 月 15 日　改訂

2014 年 5 月 24 日　改訂

Copyright© 株式会社かねこ All rights reserved.

開発元・お問い合わせ先

株式会社かねこ 経営管理室 ソフトウェア開発チーム

〒941-0058 新潟県糸魚川市寺町 3-8-33

Homepage:http://www.kaneko-corp.co.jp/

E－mail:plusweb@kaneko-corp.co.jp